

## 委員提出資料

渡辺委員提出資料	P1
2022年子どもの命と将来を守るための緊急提言	P1
2022年物価高騰の影響把握のための緊急アンケート集計結果について	P2
2022年物価高騰の影響把握のための緊急アンケート自由回答結果について	P20

## 認定 NPO 法人キッズドア 2022 年子どもの命と将来を守るための緊急提言

2022 年 11 月 28 日 認定 NPO 法人キッズドア理事長 渡辺由美子

キッズドアの調査によれば、コロナによる減収、物価や光熱費の高騰によって子どもや保護者の健康が脅かされていることがわかりました。さらに、子どもの将来の進路を諦める家庭が出始めていることも把握しました。この状況を受け、私たちは子どもの命と将来を守るため、以下の提言を行います。子育て世帯の危機に関心を持っていただき、積極的な支援にご賛同くださいますようお願いいたします。

### 1. 命を守るためのすみやかで、継続的な現金給付

困窮世帯はこれまでも生活を切り詰めてきましたが、昨今の物価高騰を受け、「肉・魚」(63%)、「野菜」(50%)を減らしたり、「子どもに食べさせるために親の食事を減らしたり抜いたりしている」(49%)、「暖房をつけないようにしている」(73%)、「電気をつけないようにしている」(51%)などの危機的状況となっています。また、子どもの成長に必要な栄養が不足しているという回答は70%となり、現時点ですでに子どもの成長に「悪い影響が大いに出ている」(16%)、「悪い影響が出ている」(33%)状況です。

今、子どもと保護者の命と健康が危機にさらされています。これまでも非課税世帯向けに現金給付等が行われていますが、子育て世帯は働いて納税していることが多いため、非課税世帯向けの支援だけでは十分ではありません。また、子どもが多い家庭の場合は、単発の現金給付では不十分です。子育て世帯の実態に合わせて、子ども一人一人への現金給付と、単発ではない継続的な現金給付を急いでください。

### 2. 困窮世帯の高校生への支援

困窮世帯のうちでも、特に高校生の状況は相当に深刻です。高校生がいる世帯は「塾や予備校に行けない」(54%)、「参考書が購入できない」(40%)と回答しています。また、不登校になり進学できない、塾に行けず休校期間中に開いた学力差が大きく影響している、高校受験の際に自由に進路を選択できなかった、子どもが経済的事情を察して進路についての話をしないなどの状況に追い込まれています。

現在の中退予防、就学支援金等に加え、困窮世帯の高校生に向けて、直接的な経済支援、例えば児童手当の高校生段階までの延長等を早急に検討してください。

### 3. 大学進学への支援

今回のわたしたちの調査では、高校生の子どもがいる家庭の約2割が「経済的な理由で志望校を諦めた」と回答しています。例えば、進学から就職に進路を変更する、大学から短大・専門学校等に進路を変更する、県外など遠方の大学を諦める、私立大学の受験を諦める、滑り止め等の受験校数を絞るなどの声がありました。今、経済的な困窮が、子どもの希望を失わせ、その将来を大きく変えようとしています。

コロナと物価高騰に子どもの将来を奪わせないように、困窮世帯の高校生の大学進学を支援してください。現在の高等教育無償化(高等教育の修学支援新制度)の周知徹底をいただくとともに、無償化の対象となる家計条件の緩和、家計急変家庭への支援をより積極的に行ってください。

また、給付型奨学金の給付対象をさらに拡大してください。なお、奨学金振込時期と学費納付期限がずれており、お金を準備できずせっかく合格した大学に入学できなかったという回答がありますので、大学の入学金や学費の納付期限等の実態に合わせ、入学前の給付が可能となるよう制度を見直してください。

さらに、困窮世帯向けの入学金等の納付猶予は、大学等の独自判断で行われていますが、全ての大学等で十分配慮されているわけではありません。こうした取組の実態を把握した上で、困窮世帯向けの納付猶予を現場の裁量判断に任せるのではなく、全国一律に適用するよう、大学等への通知をお願いします。

(以上)

## 認定 NPO 法人キッズドア

### 2022 年物価高騰の影響把握のための緊急アンケート 集計結果について

2022 年 11 月 28 日 認定 NPO 法人キッズドア理事長 渡辺由美子

2022 年は、コロナによる家計収入への影響に加え、食料品等の生活必需品や電気・ガス等の値上がりが相次ぎ、困窮世帯の生活に大きな影響を与えています。長引くコロナの影響や物価上昇等による家庭生活や子どもの心身への影響を把握し、今後どのような支援が必要かを検討するため、キッズドアでは以下の緊急 WEB アンケート調査を実施しましたので、結果をご報告いたします。

#### 1. アンケート調査について（概要）

- 目的：長引くコロナの影響や物価上昇等による家庭生活や子どもの心身への影響を把握し、今後どのような支援が必要かを検討する。
- 対象：ファミリーサポートに登録し、年末年始に向けた食料支援企画に申し込んだ家庭
- 調査期間：2022 年 11 月 11 日～2022 年 11 月 16 日
- 回答数：1846 件

#### 2. 調査結果まとめ

- ✓ 物価上昇により、家計が厳しくなったと回答した家庭がほぼ 100%。特に、「とても厳しくなった」という回答が 7 割を超えた。
- ✓ 家計維持のために出費を減らしている項目は食費、被服費、日用品費、娯楽費、光熱費などが多かった。
- ✓ 食事の変化としては、外食を減らした、おやつを減らした、肉・魚、野菜を減らしたという回答が多く、子どもの成長に必要な栄養が十分に得られなくなっている可能性がある。すでに子どもの成長に悪い影響が出ているという回答は約半数に達している。
  - また、子どもに食べさせるために親の食事を減らしたり抜いたりしているという回答も多く、保護者の健康も懸念される。
  - その他家庭の行動の変化としては、暖房や電気をつけないようにしている、貯金ができなくなった、子どもの成長に合わせた衣服や靴を購入できないという回答が多かった。
- ✓ 子どもの学びや心身の発達への影響も深刻で、学校外の学びの機会や地域の活動への参加を減らした、友達と遊びに行くのを減らした、文房具や参考書等の購入を控えたという回答が目立つ。
  - 体験活動が減った、勉強への意欲が低下したなど、子どもの学びや生活への悪影響が出たという回答は半数を超えており、受験など重要な時期を迎えるにあたって、子どもが深刻な状況に置かれていることがわかった。
  - 進学や進路について、高校生の子どもがいる家庭では、塾や予備校に行けない、参考書が購入できないという回答が目立ち、経済的な理由で志望校を諦めたという回答も約 2 割となっている。具体的には「物価高騰で出費が増えたので貯金ができず、進学を諦め就職にきりかえた。」「学費等が高い、または通学にお金がかかる学校は諦めてもらった。」という回答があった。
- ✓ 今後、年末年始にかけ、家族での外出、クリスマスやお正月の費用を減らす、水道・光熱費（暖房費含む）を減らすなどの回答が得られた。現在すでに切り詰められている生活が、さらに困窮していくことが明らかとなっている。

これまでのキッズドアの調査で、多くの家庭がコロナによる収入ダウンから回復していないことが判明しているが、物価や光熱費の高騰を受け、子どもと保護者の健康が脅かされていることが今回の調査から判明した。特に子どもへの影響は相当に深刻であり、心身の成長や学びへの影響がすでに出始めている。また、経済的な理由から進学や学習を諦めはじめている家庭も見られた。さらに、年末にかけて、より生活が切り詰められていくことも明らかとなった。

保護者と子どもの命を守るため、すみやかに現金給付などの直接的な支援が必要である。また、子どもが学びや進学を諦めなくてもすむよう、子育て世帯の実態に合わせた経済的な支援、高等教育無償化や給付型奨学金等の対象拡大、学習支援事業への追加の助成、受験費用や進学費用の減額などが早急に必要であり、支援実現のための施策を至急ご検討いただきたい。

### 3. アンケート結果概要

#### 3.1 家計への影響

回答したほぼ全ての家庭が、物価上昇により家計が厳しくなったと感じている（「とても厳しくなった」(74%)と「やや厳しくなった」(26%)の合計）。特に、最も多かった回答は「とても厳しくなった」であり、7割を超えている。

物価上昇を実感している項目としては、「食費」(99%)が最も多く、次いで、「光熱費」(85%)、「日用品費」(81%)と、日常生活で欠かすことのできない項目が続いている。家計維持のために出費を減らしている項目では、「食費」(84%)、「被服費」(74%)、「日用品費」(62%)との回答が多く挙げられた。

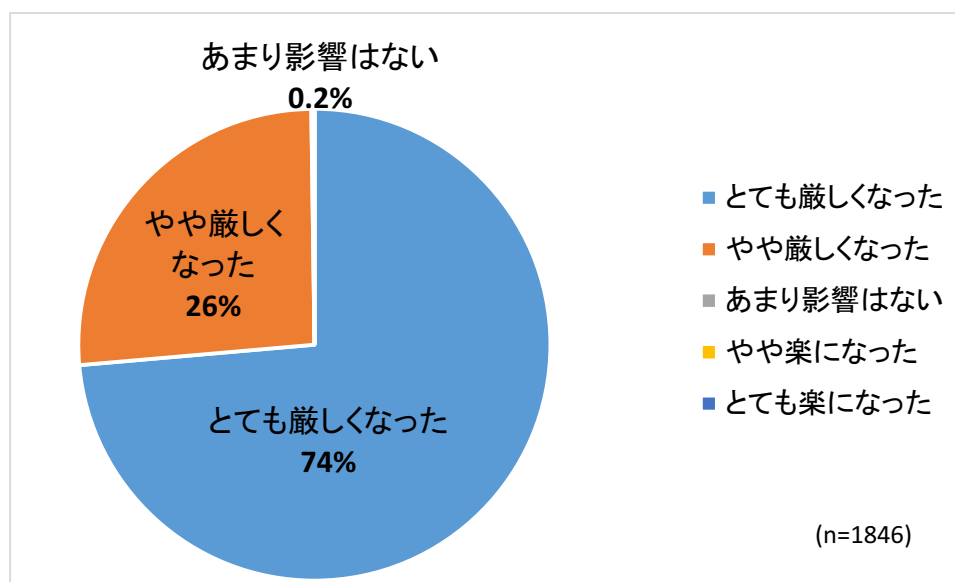


図 1 物価上昇による家計状況の変化

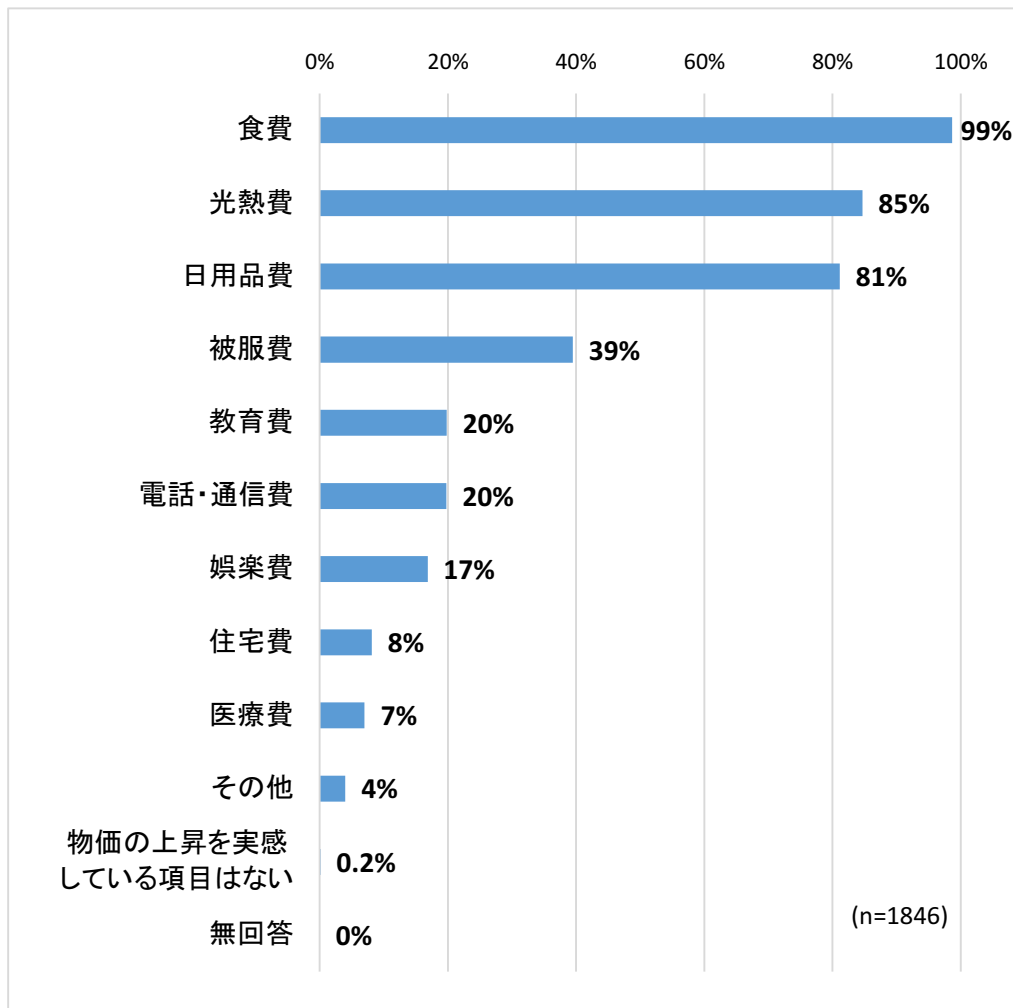


図 2 物価上昇を実感している項目（複数回答）

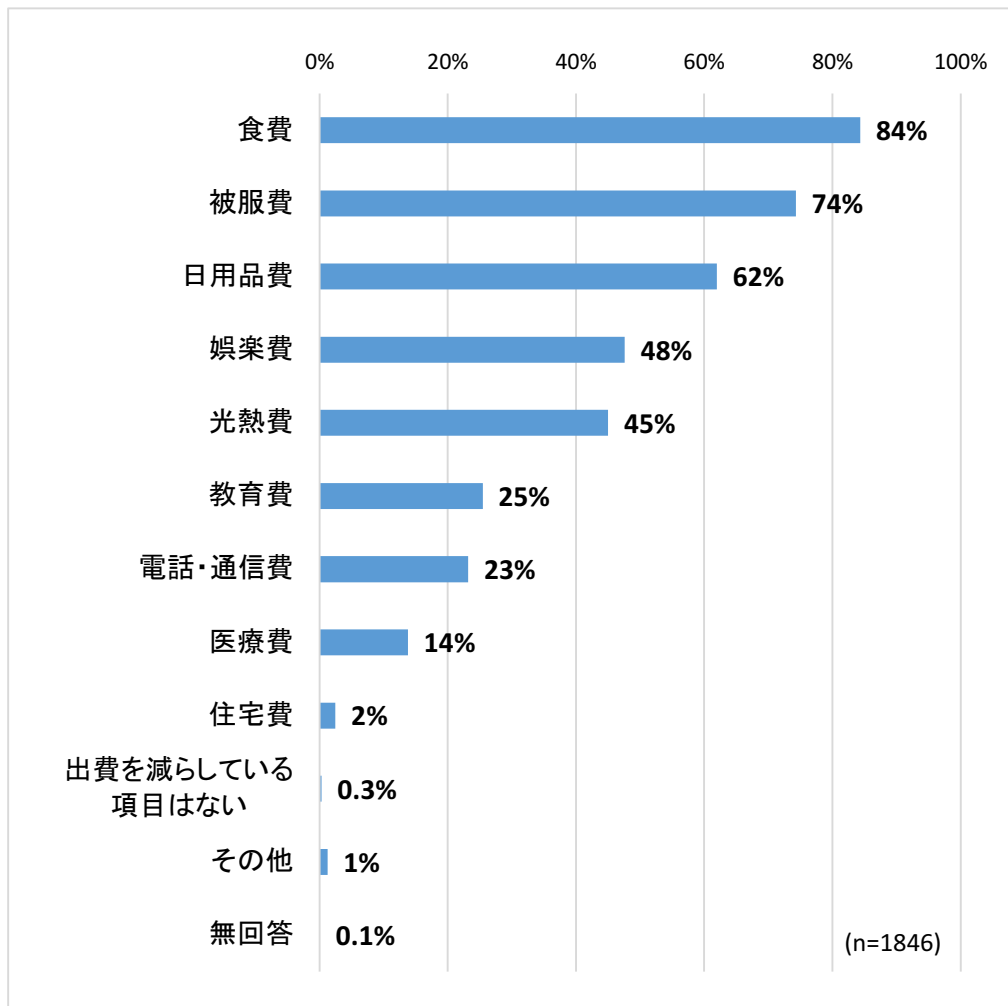


図 3 家計維持のために出費を減らしている項目（複数回答）

### 3.2 日々の食事・生活の変化

物価上昇による日々の食事の変化では、「外食を減らした」（67%）、「おやつを減らした」（65%）、「肉・魚を減らした」（63%）との回答が多く、いずれも6割を超えた。加えて、「野菜を減らした」（50%）との回答も半数であり、子どもの成長に必要な食材を減らさざるを得ない状況が伺える。

また、「子どもに食べさせるために親の食事を減らしたり抜いたりしている」（49%）との回答も約半数に達し、保護者の健康面が懸念される。一日の平均的な食事回数については、保護者で「1回」（17%）または「2回」（47%）との回答が6割超と、「3回」（35%）を上回っている。子どもでは、約7割が「3回」（68%）であるが、「2回」（13%）との回答も一定程度存在している。

食事面以外での物価上昇による生活の変化では、約7割が「暖房をつけないようにしている」（73%）、約5割が「電気をつけないようにしている」（51%）と回答するなど、少しでも出費を抑えるために行動していることが明らかとなった。また、「貯金ができなくなった」（59%）、「各種の支払いを滞納してしまうときがある」（33%）、「お金を借りるようになった」（14%）など、日々のお金のやりくり直接影响到出ているケースも見られる。この他に、「子どもの成長に合わせた衣服や靴を購入できない」（48%）との回答も約半数に上った。

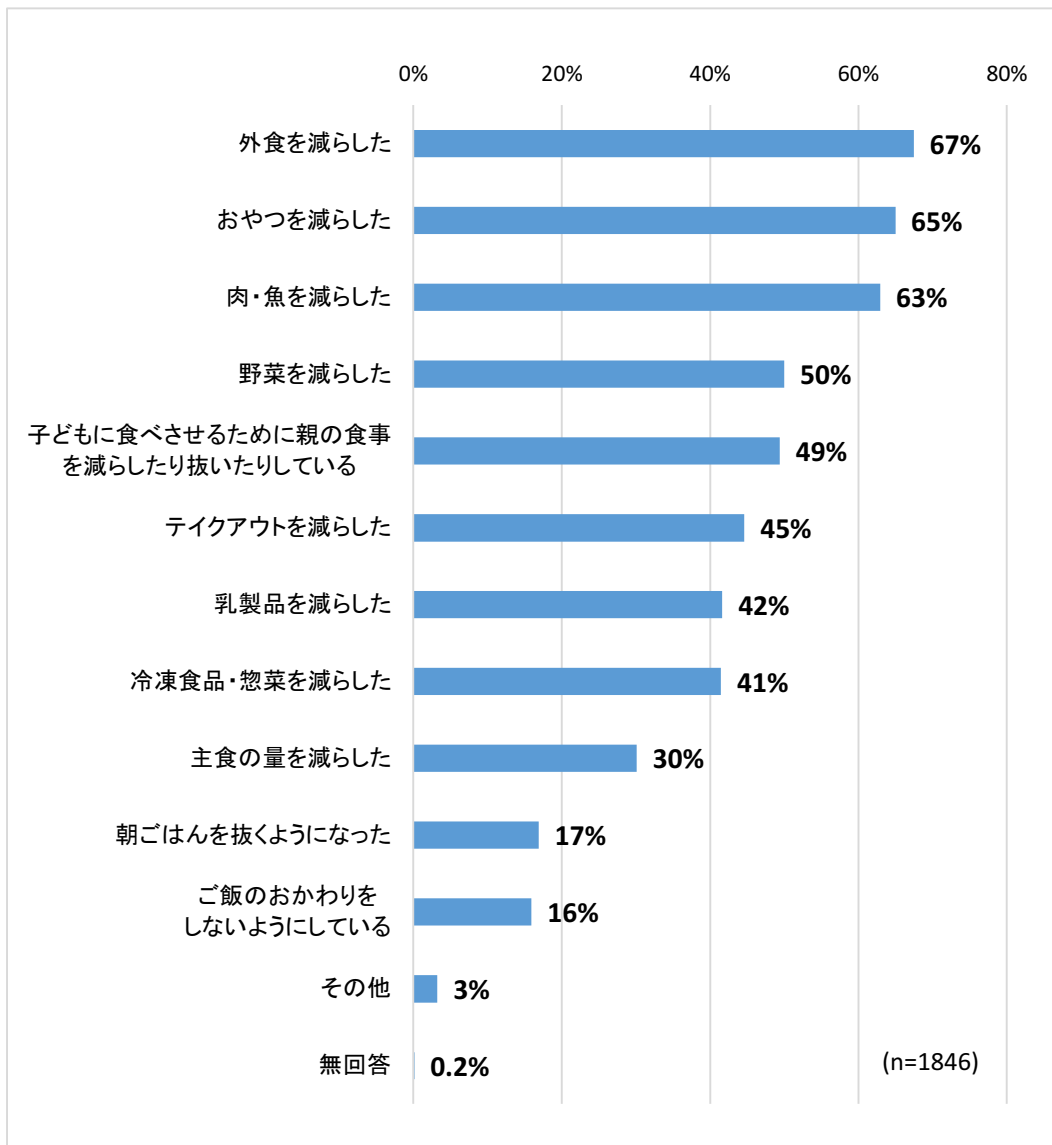


図 4 物価上昇による日々の食事の変化（複数回答）

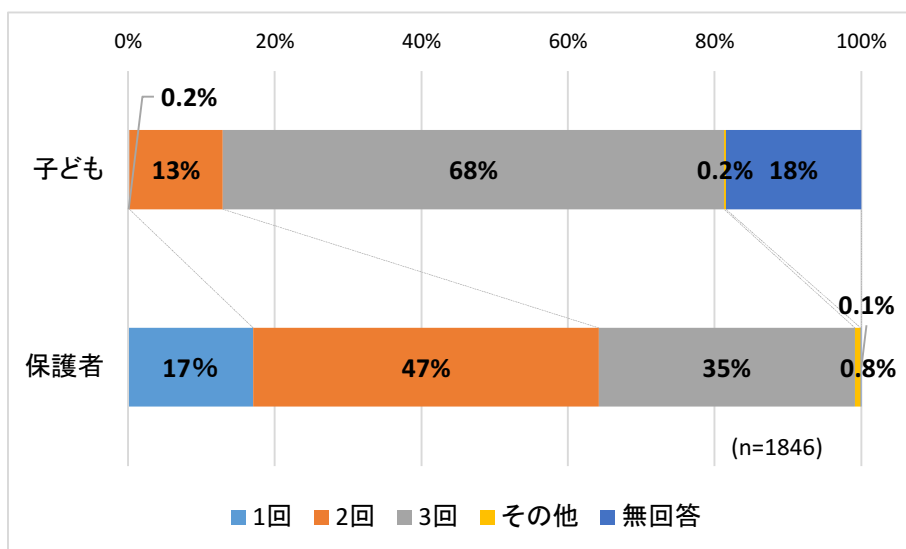


図 5 一日の平均的な食事回数

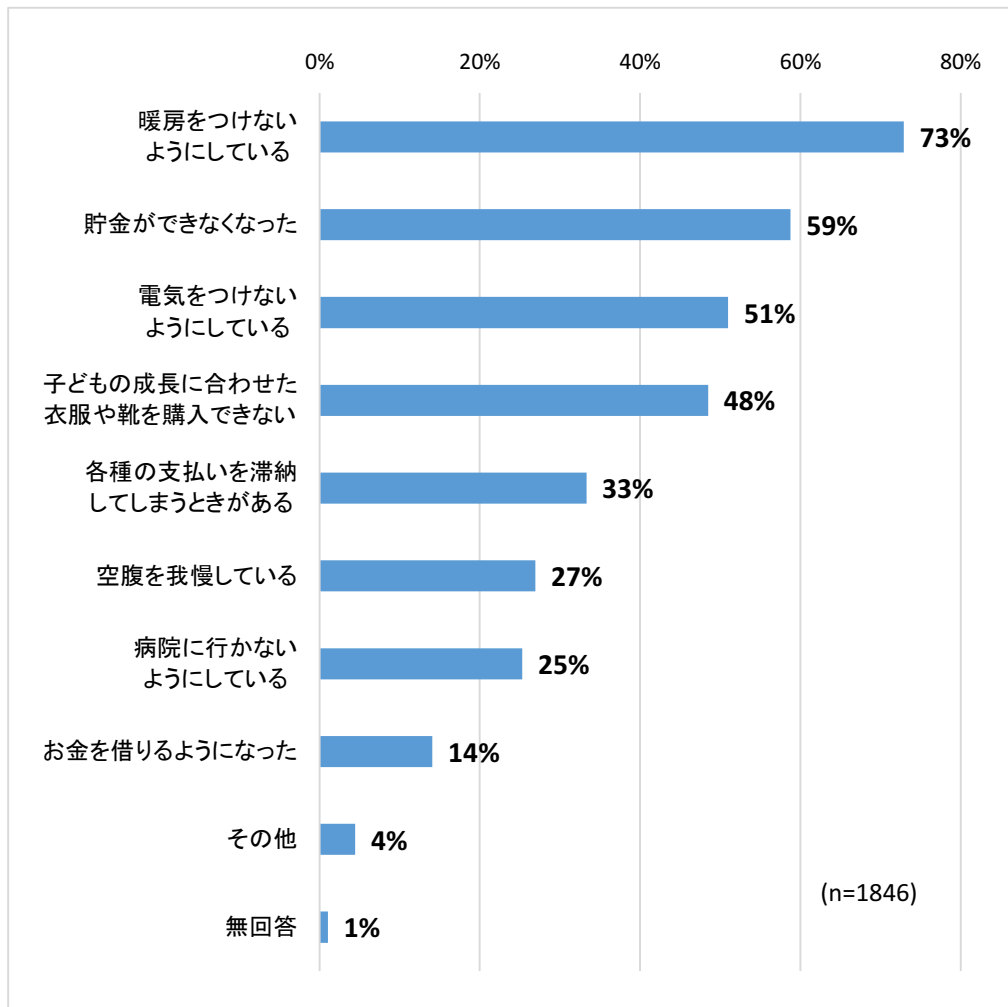


図 6 物価上昇による生活の変化（複数回答）

### 3.3 子どもの心身の成長への悪影響

物価上昇が、食事や栄養面で子どもの心身の成長に及ぼす影響では、「悪い影響が大いに出ている」（16%）、「悪い影響が出ている」（33%）と、子どもの成長にすでに悪い影響が出ているという回答が約半数に達している。悪い影響の具体的な内容としては、「必要な栄養がとれていない」（70%）が最も多く挙げられた。また、「風邪などの病気になりやすくなった」（28%）、「身長や体重が増えていない」（25%）など、健康面で問題が出始めていることを示す回答も3割程度あった。



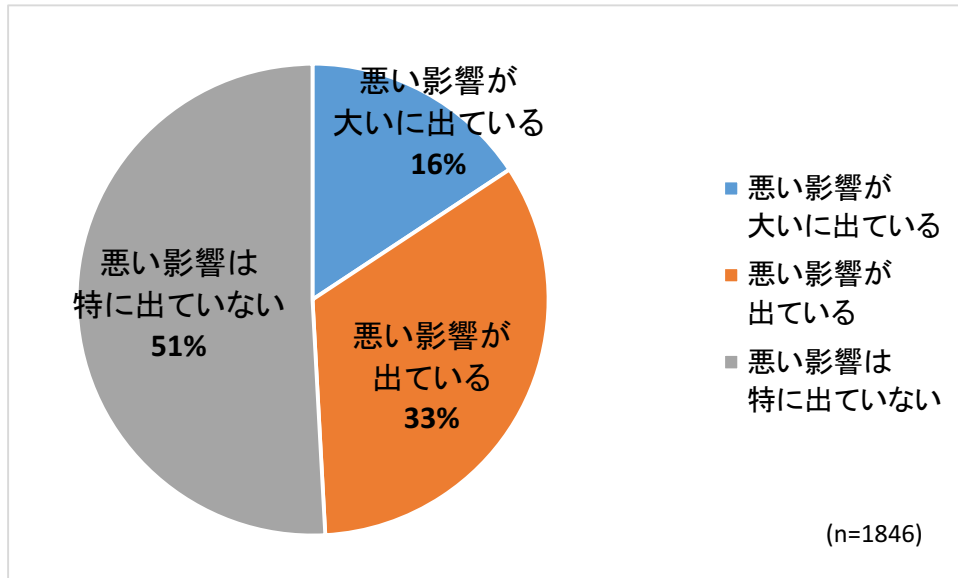


図 7 子どもの心身の成長への悪影響の有無

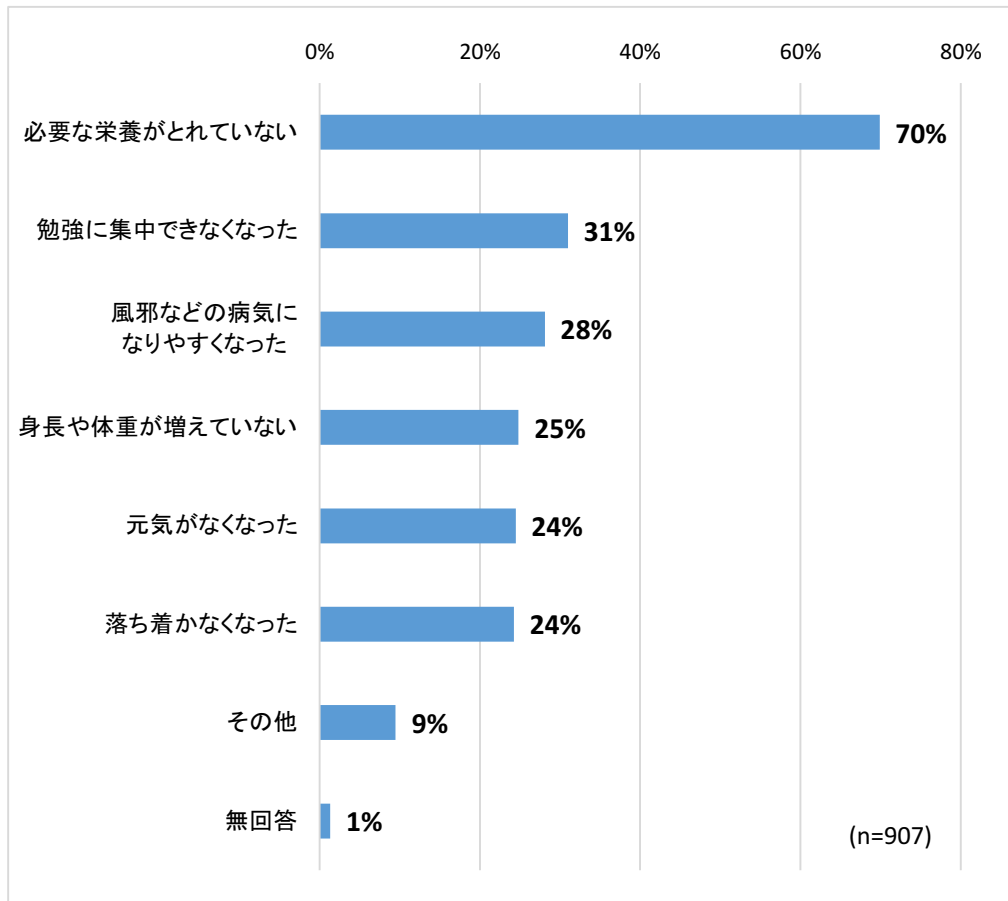


図 8 悪影響の具体的な内容（複数回答）<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 子どもの心身の成長への悪影響について、「悪影響が大いに出ている」または「悪影響が出ている」と回答した家庭が対象。

### 3.4 子どもの学びや生活の変化

物価上昇による子どもの学びや生活の変化としては、動物園や美術館等の「学校外の学びの機会を減らした」が46%と最多であった。このほかに、「友達と遊びに行くのを減らした」(40%)、「参考書や本の購入を減らした」(37%)、「文房具などの学用品を減らした」(37%)、「地域の活動への参加を減らした」(31%)といった回答が多く、子どもの学びや、友達・地域など家庭外と交流する活動の機会が減っていることが示唆された。

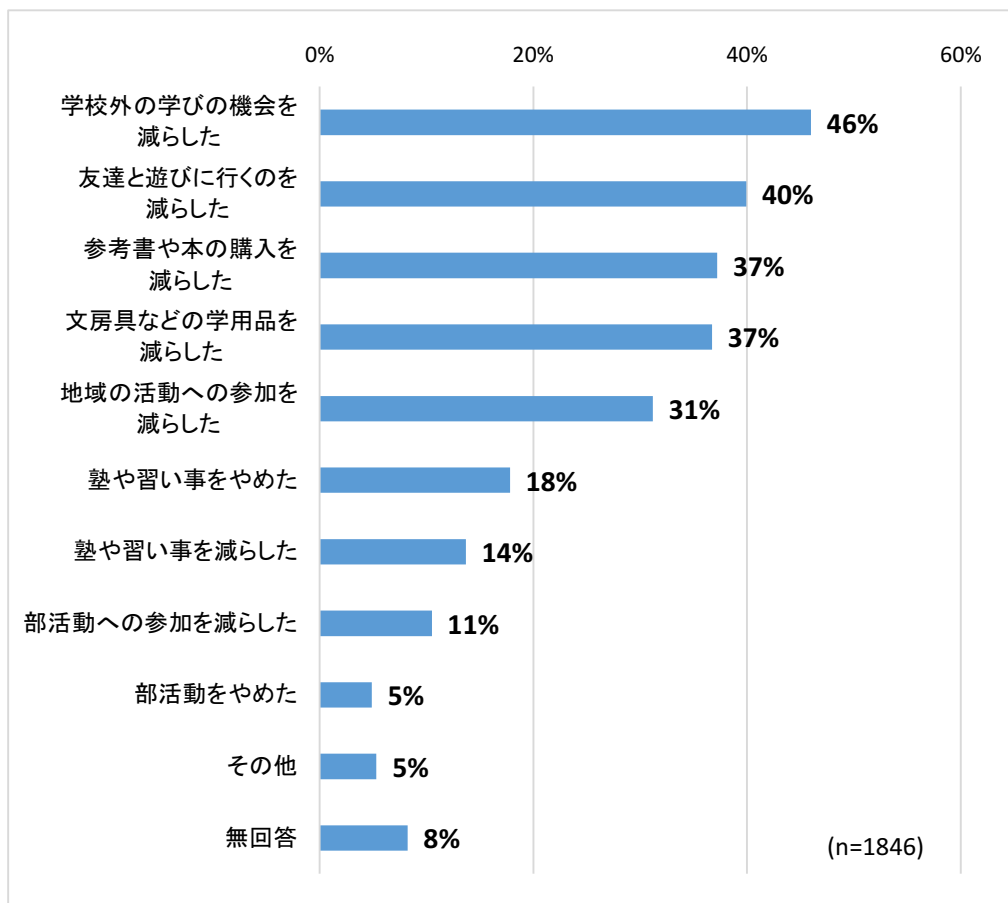


図 9 物価上昇による子どもの学びや生活の変化（複数回答）

### 3.5 子どもの学びや生活への悪影響

物価上昇による子どもの学びや生活への影響では、「悪い影響が大いに出ている」(18%)・「悪い影響が出ている」(40%)と、子ども学びや生活にすでに悪い影響が出ているという回答が6割に迫っている。

悪い影響の具体的な内容としては、「体験活動が減った」(51%)が最も多く、子どもの成長や学力向上で重要な役割を果たす各種の体験活動が減ってしまっている状況が明らかとなった。また、「勉強への意欲が低下した」は45%、「勉強に集中できなくなった」は33%と、受験等の重要な時期を迎える中で、子どもの学習に深刻な影響が出ている可能性がある。

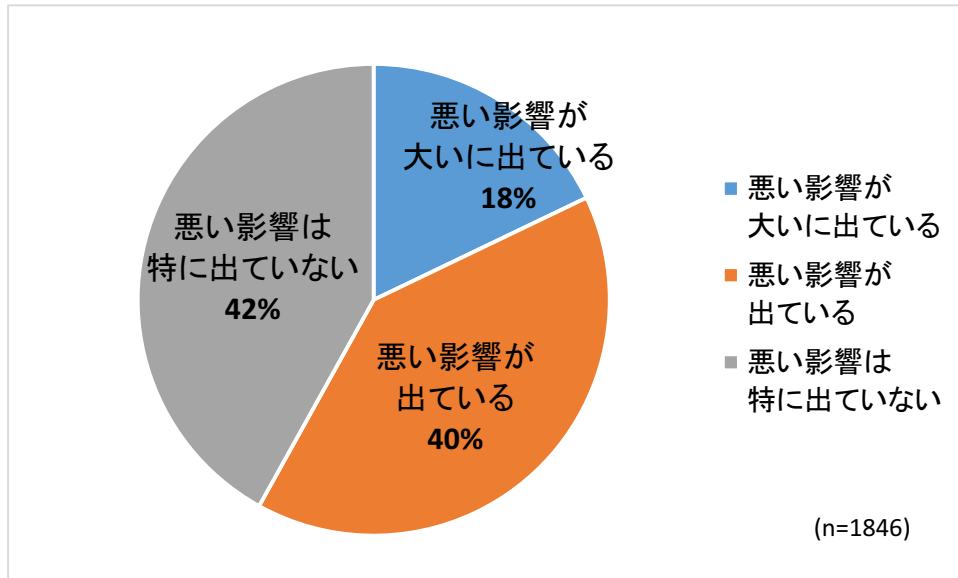


図 10 子どもの学びや生活への悪影響の有無

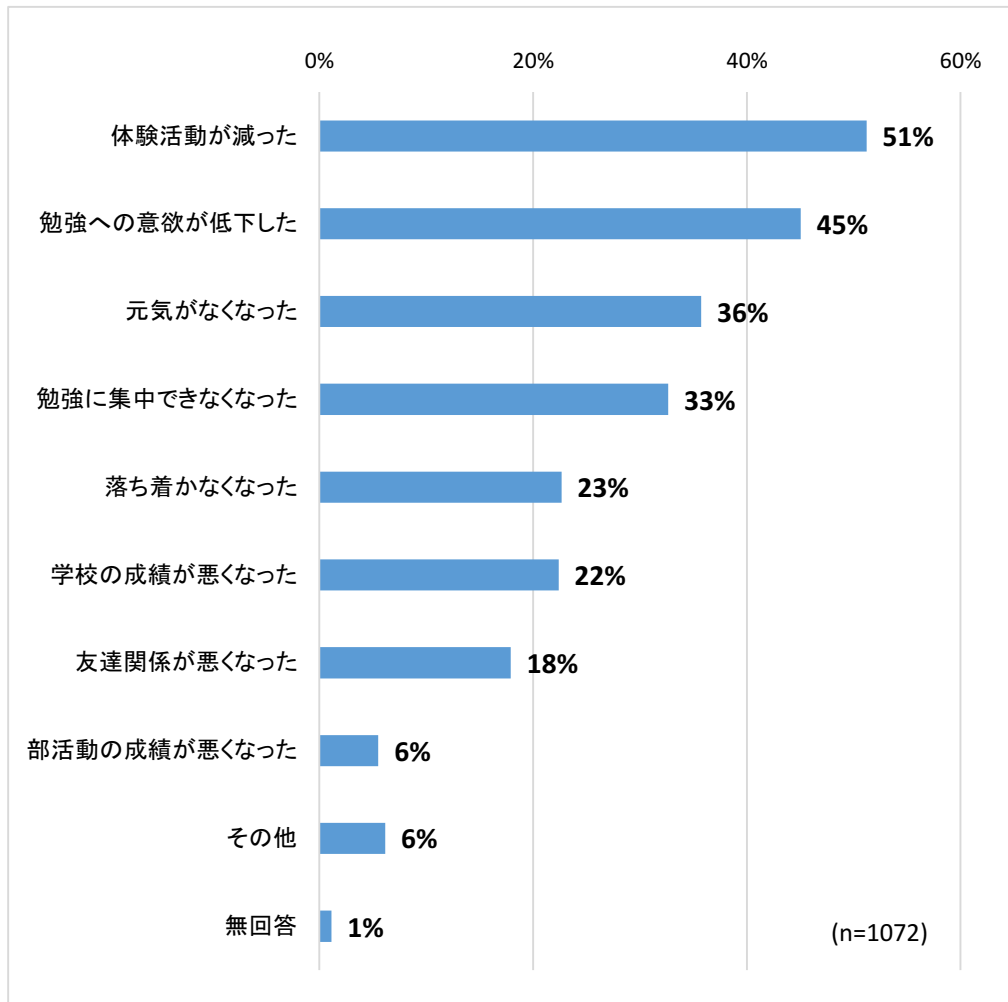


図 11 悪影響の具体的な内容（複数回答）<sup>2</sup>

<sup>2</sup> 子どもの学びや生活への悪影響について、「悪い影響が大いにしている」または「悪い影響が出ている」と回答した家庭が対象。

### 3.6 高校生の進路・進学への影響

コロナ禍や物価上昇が高校生の進路・進学に与えた影響としては、「塾や予備校に行けない」(54%)との回答が最も多く、「参考書が購入できない」(40%)が続いた。また、本設問に回答した高校生の子どもがいる家庭の約2割が「経済的な理由で志望校を諦めた」と回答しており、コロナや物価上昇が困窮家庭の高校生の進路に深刻な打撃を与えていることが分かる。

進路・進学への影響について具体的な内容の一部を表1に掲載しているが、進学から就職に進路を変更する、私立大学を諦めて国公立大学にする、県外など遠方の大学を諦める、滑り止め等の受験校数を絞る、大学から短大・専門学校等に進路を変更するといった回答が見られた。また、不登校になり進学できない、模試を受けられないため進路の判断材料が少なく不安、塾に行けず休校期間中に開いた学力差が大きく影響しているといった回答もある。この他に、高校受験の際に自由に進路を選択できなかった経験、子どもが経済的事情を察して進路についての話をしない、奨学金振込と学費納付期限のずれがありお金を準備できなかったなどの回答も寄せられた。

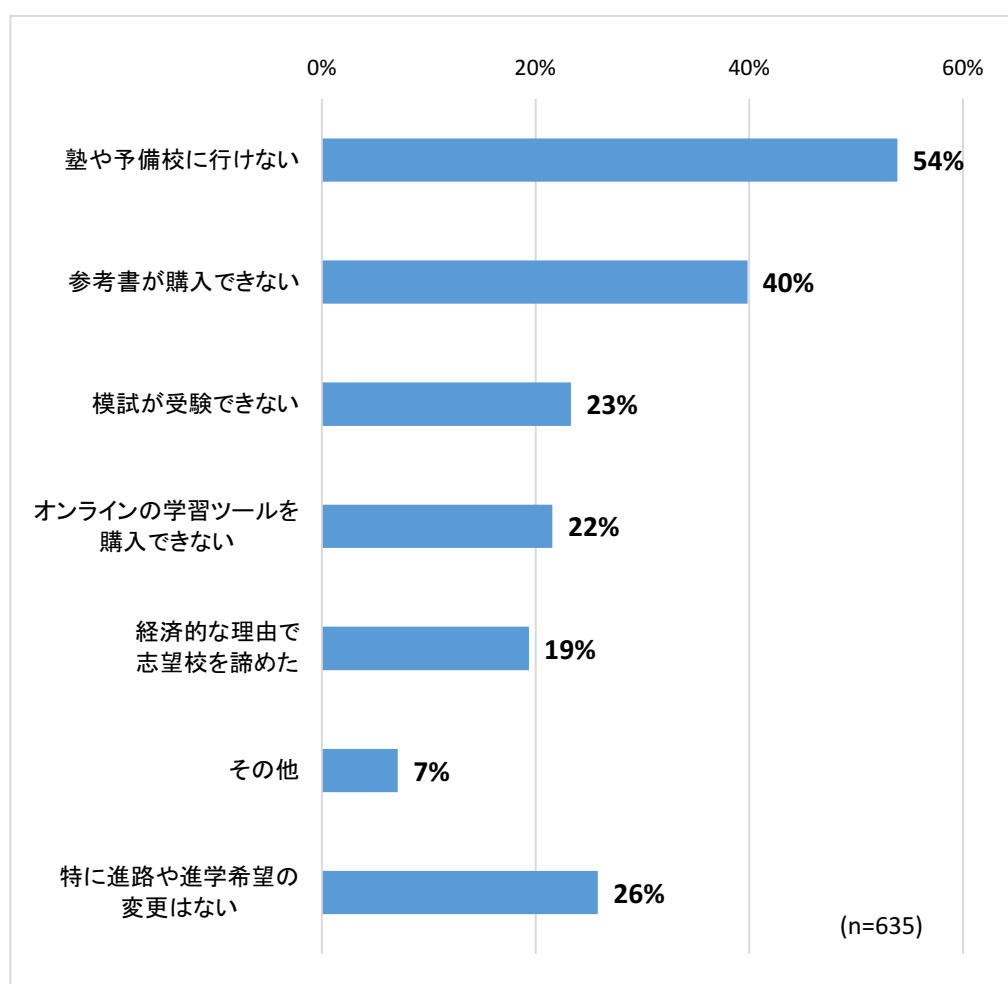


図 12 高校生の進学・進路への影響（複数回答）<sup>3</sup>

<sup>3</sup> コロナ禍や物価上昇の高校生の進路・進学への影響を尋ねる質問に回答した家庭のうち、「高校生の子どもはいない」と回答した家庭を除いた家庭が対象。

表 1 高校生の進路・進学への具体的な影響  
(自由回答、全 217 件、一部抜粋・引用者にて編集)

- 進学→就職への進路変更
  - 大学進学を希望していたが、就職に変更した。
  - 経済的な理由により就職するように伝えてます。
  - 進学希望でしたが、家計のこと、これから進学でかかるお金のことを考えて就職に変更し、家に給料を入れるねと言ってました。
  - 物価高騰で出費が増えたので貯金ができず、進学を諦め就職にきりかえた。まだ下に 2 人兄妹もいるので。
  - 本当は大学や専門学校に進学する選択肢もあったはずだけど、金銭的に厳しいので就職してもらうしかない。
- それ以外の進路変更・進路選択の制限
  - お金のかかる私立大学や専門学校を諦め、国公立一本で受験予定。落ちたら浪人するしかなく、その場合も予備校に行かせられないかもしれない。
  - 学費等が高い、または通学にお金がかかる学校は諦めてもらった。
  - 望んでいた大学が遠方にあり、交通費がかかる。また、県外にある為少し学費が高くなるなどの理由で違う大学に行くように進路変更を決めた。
  - 理系から文系学部へ志望を変更した。
  - 行きたい大学ではなく入学金の安い所や免除等があるところを探した。
  - 大学には行かせられないため、短大か専門で選ぶようにしてもらった。
  - あちこち払う受験料も大変だし、塾に通わないで今の成績で A0 で入れる学校に進学を決めた。奨学金も通して何とか…卒業まで通えるかは不安です。
- 不登校・転学・退学等
  - コロナで中々学校に行けなくなり、友達との関係も悪化し、結果退学することになった。
  - 高校を退学した。
  - 私立の高校に通っていたが、経済状況が周囲の友達と合わず、クラスに居づらくなり、通信制高校に転学した。
  - 不登校中で進学出来ません。
- 塾・模試や検定の受験・参考書等購入が難しい
  - 希望の進学を叶える為には、塾や予備校に通いたいのですが、経済的に厳しく通えません。自宅学習に使用する参考書やオンライン学習ツールを購入することも難しいです。物価上昇で家計には大打撃で、沢山の事を諦めている状況です。
  - 塾無しでの勉強に限界を感じる。高校の授業がペースメーカーであった為、特に休校期間に開いた学力差は後々まで大きく影響。心身共に大きな影響があった。
  - 模試を受けたくても受けられなかったため、進路の判断材料が少なく、いつも「自分はどこの大学もきっと受からない」と先行きの不安を度々口にする。
  - 参考書や技術書を買って与えたり、資格試験に挑ませたいのですが大変困難です。大学は家計の問題でずっと前より選択肢から外しています。
  - パソコンもネットも繋がられないのでオンラインなどの学習ができません。
- 高校受験での影響

- 高校受験の際、私立の志望校を諦めた。本人も我慢している事は言わないが、仕方なく決めた学校生活はあまり楽しめていない。
- 校区内で1番の進学校へ通いたいと言われたがバス代などがかかるため諦めてもらい、近所の高校へ変更をしてもらった。
- 普通高校ではなく、制服などが無い定時制高校に進学をさせた。

➤ その他

- 子どもがやりたい学びについてますます話さなくなった。進路や将来について希望を聞かれても「でもうちお金ないから」と思ったり言ったりして、そもそも「本当はどういう学びや生き方をしたいか」と考える習慣がないし、ますますその傾向は強くなっている。「お金はどうかするから」と言っても物価上昇や年金や円の下落で貯金が目減りするのをニュースで知るので母子家庭の状況に絶望するらしい。あらかじめ諦めている様子。地頭がよい子だけに、歯がゆいし辛い。
- 大学の入学金や学費が高く、学校の納付期限に学費を準備する事ができなかった。日本学生支援機構の奨学金は、入学後に奨学金が振り込まれるため、お金の無い我が家は、入学前に学費を準備できなかった。諦めてもらうしかなかった。国の大学無償化や給付型奨学金もすべて入学後の為、一括で立替えなければならず、低所得者にはハードルが高い。入学前に入学金と授業料を減額して学校に振り込める様、制度的に見直しが必要だと思う。
- 生活するために進学のために貯金していた貯金をくずし生計を立ててる。
- 東京の学校への進学先の下見やオープンキャンパスへはなかなか行けない。

### 3.7 今後減らす・なくす予定の出費

今後、出費を減らすまたはなくす予定の項目としては、「家族での外出の費用」(87%)、「クリスマスやお正月の費用」(79%)、暖房費を含む「水道・光熱費」(66%)が上位となった。学校が冬休みに入り、イベント等も多い時期に、家族での外出や季節行事等の子どもにとって貴重な機会が奪われてしまうことが懸念される。また、寒さが厳しくなる中、暖房費を含めた光熱費を抑えることで健康面での悪影響も危惧される。コロナ禍による減収や物価上昇でギリギリまで切り詰めた生活が、年末年始にかけて、さらに困窮していくことが示された。

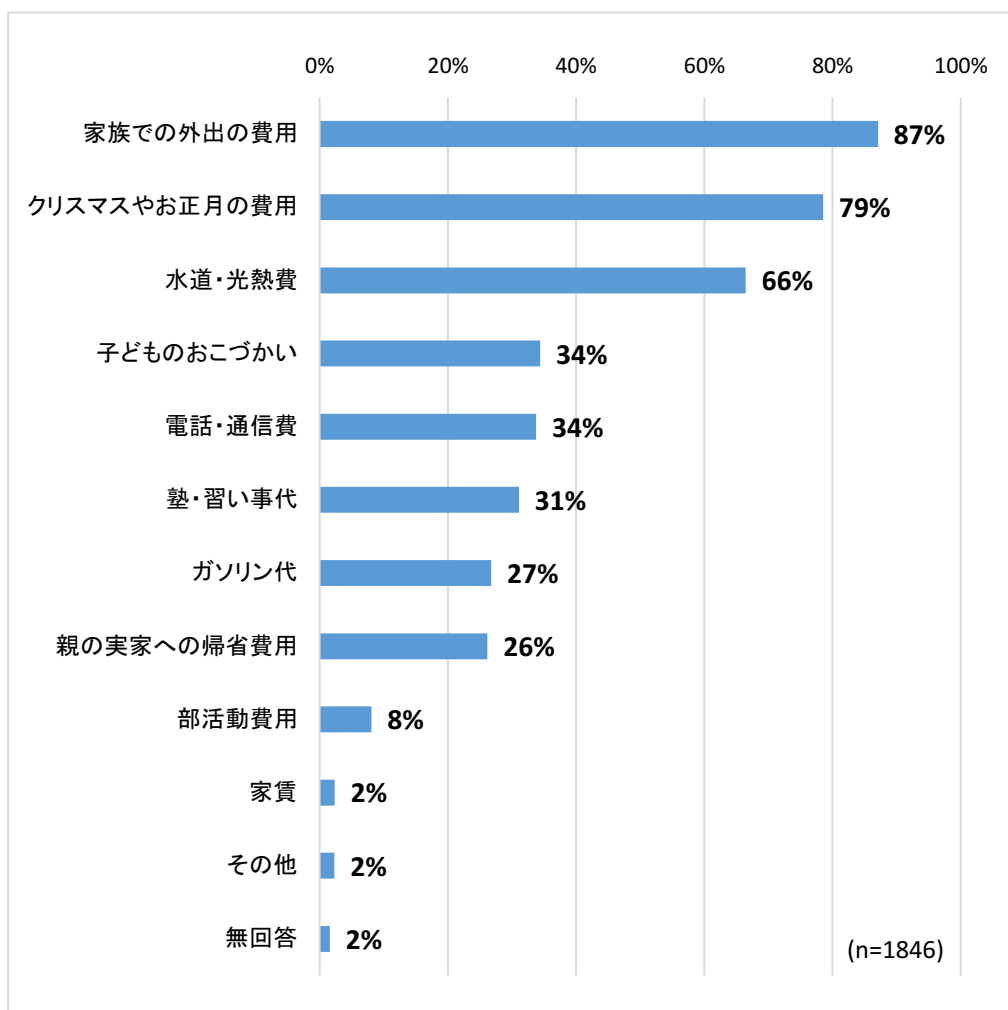


図 13 今後出費を減らすまたはなくす予定の項目（複数回答）

### 3.8 政府に伝えたいこと

政府に伝えたいことでは、自由回答で全 1019 件の様々な声が寄せられた。物価上昇では、食費や光熱費等が上がり経済的にも精神的にも追い詰められている状況、賃金が上がらないことへの不安などを伝える回答が目立った。コロナ禍については、仕事や収入への影響のほか、学校生活での制約による子どもへの影響を心配する声があった。困窮が深刻化する中で現金給付を求める意見も多かった。現金給付については、対象を非課税世帯に限らないでほしい、世帯人数を考慮した金額にしてほしい、一回ではなく継続してほしいとの声も見られた。また、現金給付への要望とともに増税について反対する回答もあった。

特に子育てにお金がかかるようになる高校生や大学生について、児童手当や医療費助成等の対象年齢引き上げを求める回答も多く見られた。子どもの学びについては、教育の無償化や授業料以外の費用の支援、既存の修学支援制度等をより利用しやすいものにする、不登校児への支援、塾など学校以外での学びへの支援を求める声があった。

ひとり親世帯に関連する回答では、ひとり親世帯の窮状（収入の低さ、就労における様々なハードル、頼る人のいない辛さや孤独など）、実質ひとり親や父子家庭も困窮していることを伝える回答があった。また、養育費の確実な受取りのための支援、児童扶養手当の見直し（所得制限や支給金額等）等を求める声も寄せられた。ひとり親以外にも、多子世帯の困窮や支援の必要性を求める回答もあった。また、世帯

構成を問わず、非課税世帯から外れると却って困窮してしまうという制度上の問題点を指摘する意見も目立った。

苦しい状況が長引く中で、政府には困窮子育て世帯の現実を知ってほしい、一時的ではなく将来につながる支援・根本的な支援をしてもらいたいという回答も多く寄せられた。

表 2 政府に伝えたいことなど  
(自由回答、全 1019 件、一部抜粋・引用者にて編集)

- 物価高騰の影響や不安
- コロナの影響で既に苦しい経済状況だったのに追い打ちをかけるような物価の上昇で支払いの督促などにも悩まされて経済的負担に加え精神的にもギリギリに追い詰められている。子どもたちも無気力になっている。5年後、10年後を考えるのが怖い。
  - コロナ禍の収入減少で家計が打撃を受けたのが改善されないままこの頃の物価上昇でとても生活が苦しい状態です。所得が上がらないのに物価ばかり上がる世の中を改善していただきたいです。収入が高い方は物価が上昇しても娯楽をやめたり外食を控えるなど無駄な出費を控えればしのげるかと思いますが、もともと収入が少ない家庭では食費、光熱費でいっぱい生活をしてますので節約するところもなく本当に困っています。
  - 電気ガスが高くてこの冬を暖房つけないと決めましたが冬を越せるのか不安。
  - 食品の値上げは低所得者には命に関わってくる位大きな問題なので、ほんの少しの給付金では助けにならない。
  - 普段からギリギリの生活でしたが、物価高騰で食べることもやっとの生活に変わりました。子供への影響は確実に出ています。子供だけでも安定させたくて毎日必死です。どうか未来ある子供達に手厚い支援をお願いします。
  - 物価上昇により、日々の食費を賄えなくなり、生活がくるしいです。病院へ行くこともできません。
  - 物価上昇に伴い生活が苦しいです。貯金を崩しています。助けて下さい。
  - 物価が高くなっているのに、賃金が上がらないのはおかしいです。物価高に見合った賃金の上昇を望みます。
- コロナ禍の影響や不安
- コロナの影響でリモートワークになり収入が減りました。収入が増える見込みもなく、障害を持った家族のサポートもあり転職も出来ず、物価も上がり本当に困っています。大学進学のための資金を貯金していたため、生活困窮者自立支援金に申込する事も出来ませんでした。もう少し柔軟な支援をして頂きたいです
  - 学校の活動が以前のように行えないので、子どもが楽しみなイベントが全て中止や短縮になり、楽しみがなくなってしまった。
  - コロナで、子供たちの学びが止まるのだけはやめてほしい。
  - 家族でコロナに感染してしまい、収入は半分になってしまいました。毎月ギリギリの生活で収入減少になり、医療保険も降りない、会社からも支援がない、行政からも支援無し。
- 現金給付への要望
- これから生まれてくる子供に 10 万円分のクーポンなどではなく、今いる子供達にも 1 人 10 万円いただきたい。物価上がって給料安いままでは生活出来ない。
  - お正月前に現金給付をもう一度して欲しい。世帯単位だと家族の人数によって、貰えたとしても、足りない。1 人 1 人にして欲しい。きっと、低所得の人だけが高騰しているのに困ってい



るわけではないと思うので全国民に配って欲しい。

- 子育て世帯にとって物価高騰は生活に直撃するので、このままでは、食べてくのもやっとなので、これから、年末年始にかけて学校なども休みになり、さらに困窮してしまうので、早急に現金給付をして欲しい。
- 一時的な給付金ではなく、しばらくの継続的な給付金をお願いしたいです。
- 電力・ガス・食料品価格高騰緊急支援給付金が一世帯当たり5万円は少なすぎる。1人世帯と5人世帯でも同じ金額は納得がいかない。公共料金も食費も人数に応じてかかる金額が違うので。

➤ 増税反対

- これ以上税金を上げないでください。働いても働いても物価上昇が賃金上昇に伴わず、このままだと生活が出来なくなります。
- 給料が上がらないのに、これ以上、税金を上げないでほしい。無駄な税金を使わないでほしい。せめて日用品と食品は税金を減らしてほしい。
- 物価上昇に伴い家計が苦しくつらいおおいをしているなか、十分な支援もなく、増税をしようとしているのはひとり親家庭だけでなく子をもつ家庭全てが苦しくなり子供が暮らしにくい世界になります。増税までして追い詰めるのはやめてください。

➤ 子育て支援施策（児童手当、医療費助成等）の対象年齢引き上げ

- 18歳まで児童手当を受けられるようにしてほしいです。中学3年で打ち切られた児童手当、月1万でもだいぶ助かっていました。義務教育が終わりましたが、義務教育の時より高校生はお金がかかります。
- 児童手当の年齢と金額の引き上げ。子供は成長につれ出費（食費・学習費など）が増えます。高校、大学進学させてあげられるように。
- 子どもが20歳になるまで、継続的な金銭的な支援が必要です。現行の支援だと、中学卒業後の金銭的な見通しがもてない。負の連鎖を生む。
- 医療費を18歳まで助成にしてほしい。

➤ 教育への支援

- 子供達が夢を諦めなくて良いように、高校、大学、私立も含めて、もっと経済的支援。無償化の幅を増やしてほしいです。
- 高校の給付金・貸付の制度をもっと簡素化して意味あるものにして欲しい。わが家は最初に用意するまとまったお金が無いので本当に辛いです。
- 国の大学無償化の制度をもっと使いやすくしてほしい。現在の制度は、入学後に、進学先の学校を通して学費が減免さる（還付される）しくみになっています。低所得者にとっては、入学前に学費を全額準備をすることが難しいです。入学前に入学金と授業料を減額して学校に振り込める様、制度的に改善をお願いします
- 大きな借金を抱えたまま社会に出ることのないように奨学金の無償化や減額を考えて頂けないでしょうか？
- 部活動も就学援助制度の対象にしてほしい、子供の希望や夢を貧困で潰さない世の中になってほしい。
- 中学校がお弁当の地域です。一刻も早く、給食にする様に呼びかけてほしいです。
- 地域の学校が合わない子どもが、安心して学び、育つ環境の選択肢が経済的な理由で限定される。私立、フリースクール、ホームスクーリング等、送迎や費用の面で諦めざるを得ない。

- 子どもの未来を考えて、所得の低い家庭に塾などの支援をして欲しい
- 塾や美術館・博物館など、学びの支援をお願いしたいです。

➤ ひとり親世帯の現状・支援

- シングルマザーで子育てもあるので、残業が出来ません。仕事も正社員の道もすたれ、収入は少なく、仕事の安定がなく、子どもも預かれなく、疲れが取れる暇がありません。これで、物価が上がったらお手上げです。手取り 13 万円です。フルタイムで働いてますよ。これに、ボーナスなし。退職金なしです、
- ひとり親で発達障害がある子を育てていますが、毎日心の波のあるこどもに振り回され、疲れていても家事、町内の会合、仕事は誰にも代行してもらえないことが辛いです。
- ひとり親は収入の多少に関わらず、ひとりで全てまかない責任も背負っていくので、非常に心細い存在です。物価高に怯え、これからかかっていく教育費に悩み、常に日々の暮らしに不安を感じています。教育費を考えると私立に行くのは無理かもと、進路が狭まるのも悲しい現実です。親の収入に関わらず、こどもには等しく未来が開かれている社会を望みます。
- ひとり親家庭でも、様々な家庭環境があり、頼れる身内が 1 人も居ないと本当に助けて貰えません。せめて、他のひとり親家庭よりも金銭面を考えて欲しいです。今、本当に誰にも頼れず苦しいです。
- 自分は、シングルファザーで二人の子供を育てています。子供は小学生で迎えに行ったりしなくてはならないので社員をクビになり非課税世帯になりました。生活も苦しくどうか父子家庭の手当でも考えていただくと助かります。宜しくお願いします。
- DV 避難者などで離婚も出来ない実質ひとり親にも支援の対象を広げてほしい。

➤ 養育費等

- 養育費が、自営業でも強制徴収出来るよう家族法の法改正を宜しくお願い致します。
- 養育費をもらうのが、当たり前の日本にしてほしいです。相手の給与から、税金などと一緒に、養育費を天引きできるシステムにしてほしいです。支払わない場合は、罰則を設けてほしいです。
- 養育費を確実におさめさせる制度設計、安全な面会交流が出来る仕組み作り。
- シングルマザーとして生活していますが養育費が支払われず困窮しています。養育費を確実に確保できるような法整備を整えてほしいです。
- 子どもの心身の安全安心を守れず暴力から逃れるための離婚をしている場合、子どもの幸せを何より大切にしたい会話はできないことが多々あります。共同親権は怖いのです。

➤ 児童扶養手当の見直し

- 児童扶養手当などの所得制限は廃止して下さい。少なくともコロナ禍が収まるまではひとり親家庭に所得制限は設けないで下さい。
- 児童扶養手当の所得額を上げてほしい。児童扶養手当がないとやっていけないため、時短で働いているが、本当はフルタイムで働きたい。フルタイムだと必死で働いても、支援がないとやはり生活は厳しいです。
- ひとり親の児童扶養手当の第二子以降の金額の見直しをお願いしたい。第三子以降の金額はないようなもの。養育費が払われてない家庭が多いので検討をお願いします。
- 子供が遺族厚生年金を受け取れる事になりました。児童扶養手当がその分減額になるとの事でした。一律に減額と言う措置ではなく、子供が受け取る遺族厚生年金は、養育費等と同じ扱いにして、それを含めた総所得で児童扶養手当の額を計算して欲しいです。

- 4月と12月に児童扶養手当などが入らない。満遍なく毎月にしてほしい。新学期や年末年始に一番必要な時に出ないのは苦しい。
- 物価高にともない、もしも賃上げとなったとしても、それにより児童扶養手当が減額されてしまったり受給資格がなくなったりすると結局生活は苦しいままなのではないかと不安に思っています。

➤ 多子世帯の現状・支援

- 少子化対策に力を入れているようですが、多子世帯の家庭にも目を向けてほしい。多子世帯では、子供の教育費が家計に重くのしかかっています。非課税世帯も大変だと思いますが、非課税世帯ギリギリの多子世帯中間層世帯は、苦勞しています。生活することで精一杯で、貯金する余裕もありません。
- 子供の貧困、特に多子世帯への支援を充実させて欲しい。将来を担う子供達に明るい未来と希望をもてるようにして欲しい。お金がないから学べないというのを無くして欲しい。
- 多子家庭向けの施策は子どもたちの年齢が近くないと利用できないものもあったので、なるべく人数だけをカウントして利用できるようにして欲しい。保護者の単純な年収ではなく、可処分所得でいろいろなことを計算して欲しい。

➤ 所得に応じた柔軟な支援

- はたらいてお金を稼ぐと手当が停止になる。所得制限の撤廃もしくは基準額拡大、緩和をお願いしたい。
- 頑張っているのに、非課税にならないように働くと税金で引かれ、給付は受けられず、働かないほうが得をする非課税世帯優遇の制度を改善してほしい。給料は上がらないのに、光熱費や物価の上昇し、余裕のない家庭にとって、苦しくなる一方。非課税世帯、生活保護などもちろん仕方ない人もいますが、あえてそれを選んでいたり、預貯金のある年金世帯など、そこに支援ばかりしていきると頑張る気力もなくなってしまふ。
- 住民税非課税世帯への援助は手厚いが、ギリギリ非課税ではなくなった世帯への援助が乏しい。住民税は支払わなければならない、児童扶養手当は一部支給になり、給付金なども受けられない。結果的に、子どもとの時間は取れなくなり、貧乏に暮らさねばならなくなる。自分の力で何とかやっついていこうと努力している世帯への支援を考えてほしい。
- 非課税世帯で区切るのをおかしいです。非課税所得より、1000円でも多ければ課税世帯です。給付金といって渡してありますが、非課税世帯が給付金もらうと、少しオーバーしただけの課税世帯より多くなります。1番辛いのはその世帯だと思います。
- シングルマザーが貧困と言われてますが、シングルファーザーでも貧困で、ぎりぎりの生活をしています。非課税水準よりわずかに高いと給付を受けられない人たちがいる事を忘れないでください。

➤ 困窮子育て世帯の現実を知ってほしい

- 子供にどれだけお金がかかるのか、女性が育児をしながら収入を得ることがどれだけ大変か実感としてわかる方に大臣をして頂きたい。
- 未来を担う子どもたちの事にもっと目を向けて欲しいです。子どもたちはコロナ禍でたくさん我慢しています。現場の声を聞きに来て欲しい。
- 少子化対策と言いながら、実際に行なっている政策は子育て世帯を苦しめる様な政策ばかりです。きちんと子育て世帯の意見を聞き入れて政策を考えて下さい。どんどん子育て世帯は苦しくなるばかりです。本当に少子化対策をしようと考えているのかと疑問に思うほどです。こ

のままでは生活できないです。

- 地方在住のものです。生活物価指数は都会より安いと思われがちですが実際はそうではありません。むしろ都会よりも随分お金がかかるのが現状です。そしてフードバンクなども地方にはあまりありません。都会と同じように地方の現状もみていただけたらと思います。
- お金の使い方が間違ってる。困ってる家庭は沢山あるのに政府は見て見ぬふりばかりで全然助けになってません。
- 今から生まれる子供の補助に最近ニュースが出ているが、今子育てしている私達が苦勞している。政府は旅行支援などばらまきしないほしい。
- 子育て世代や弱者の為に本当にためになる政治をお願いします。増税ばかりなのに社会福祉や教育、子供のために還元されている実感が全く無い。

➤ 将来につながる支援・根本的な支援

- 「子どもの貧困」＝「親(保護者)の貧困」です。子どもの貧困だけに焦点を当てたその場限りの対処療法だけでは、経済的格差から来る貧困の連鎖は無くなりません。早急に必要な対処療法と同時に、日本の子どもの未来のためにも、根幹である、子育て世帯の最低限生活に必要なお金が足りていない、「金銭的資源の欠如」という貧困の根本的な問題解決のための政策を望みます。
- 給付金もいいけど子育てをするのにお金がかからないような仕組みにしてほしい。保育園や小学校で使うもの配給制にするなど。給食費無料など。
- 給付金を時折実施して頂いてますが、その場しのぎという事に早く気づいて欲しい。世の中全体の給与が上がれば様々な値上げにも対応出来ます。ひとり親でも稼げれば将来を担う子供の世界が広がります。早く気づいて対策してください。
- 現状の課題の解決と、未来の子どもたちへの負担軽減につながる政策の実現を欲しい。
- 物価上昇とともに、賃金の見直しを行なっていただきたいです。日本は海外よりも労働力があり、拘束時間も長いのに、賃金が低すぎます。物価を上げざるを得ないのであれば、まずは賃金の底上げをしていただきたいです。
- 子育て世帯を助ける政策をしてほしいです。女性が仕事をしやすい、子供を育てやすい社会にしてほしい。緊急的、恒常的な支援は今は、必要としています。今後子供たちが成長した後の社会では私のような生きづらい世の中ではなく、未来であってほしいです。

以上

## 認定 NPO 法人キッズドア

### 2022 年物価高騰の影響把握のための緊急アンケート 自由回答結果について

認定 NPO 法人キッズドア理事長 渡辺由美子

2022 年 11 月 28 日

2022 年は、コロナによる家計収入への影響に加え、食料品等の生活必需品や電気・ガス等の値上がりが相次ぎ、困窮世帯の生活に大きな影響を与えています。長引くコロナの影響や物価上昇等による家庭生活や子どもの心身への影響を把握し、今後どのような支援が必要かを検討するため、キッズドアでは以下の緊急 WEB アンケート調査を実施しました。アンケートには多くの自由回答が寄せられましたので、集計結果とは別に、本資料にてご報告いたします。

#### 1. アンケート調査について（概要）

- 目的：長引くコロナの影響や物価上昇等による家庭生活や子どもの心身への影響を把握し、今後どのような支援が必要かを検討する。
- 対象：ファミリーサポートに登録し、年末年始に向けた食料支援企画に申し込んだ家庭
- 調査期間：2022 年 11 月 11 日～2022 年 11 月 16 日
- 回答数：1846 件

#### 2. 自由回答結果

##### 2.1 高校生の進路・進学への影響

コロナ禍や物価上昇による高校生の進路・進学への影響では、全 217 件の自由回答が寄せられた。進路変更や進路選択に制約があったケースとしては、進学から就職にする、私立大学を諦めて国公立大学にする、県外など遠方の大学を諦める、滑り止め等の受験校数を絞る、大学から短大・専門学校等にするといった回答が見られた。また、不登校になり進学できない、模試を受けられないため進路の判断材料が少ない、塾に行けず休校期間中に開いた学力差が大きく影響しているといった回答もある。この他に、高校受験の際に自由に進路を選択できなかった経験、子どもが経済的事情を察して進路についての話をしない、学費に対して不安がある、奨学金振込と学費納付期限のずれがありお金を準備できなかったなどの回答も寄せられた。

表 1 高校生の子どもの進路・進学への具体的な影響  
(自由回答、全 217 件、一部抜粋・引用者にて編集)

##### ➤ 進学→就職への進路変更

- 大学進学を希望していたが、就職に変更した。
- 大学進学を諦め就職する。
- 大学進学を諦めてもらい、就活お願いしている。
- 大学進学希望から、就職希望へと進路変更しました。
- 経済的な理由により就職するように伝えてます。
- 現在高校 2 年生ですが、経済状況悪化により先が見えなくなり、下に妹弟 3 人おり高校進学とも重なる為、専門学校進学を諦め、就職せざるをえない。

- 子どもから進学ではなく就職したいと言われた。
- 子供は進学を希望していたが、まだ下の子もいるしお金もかかるので就職にしてもらった。
- 志望校を諦め働く道しか無くなった。
- 現在の学校から大学への編入ができるが進学せずに就職を希望している。
- 就職する。
- 就職することにした。
- 就職を希望するようになった。
- 就職組になるであろう話になっている。
- 進学から、就職に切り替えました。
- 進学から就職に変更。
- 進学したいようだが、就職希望に変えた。
- 進学しないで就職することにした。予備校などに通わせるお金がない。
- 進学ではなく就職を考えるようになりました。
- 進学は辞め、就職希望になりました。
- 進学も考えていたけど、就職をする事にした。
- 進学を諦めて就職にしよう予定。
- 進学希望でしたが、家計のこと、これから進学でかかるお金のことを考えて就職に変更し、家に給料を入れるねと言ってました。
- 専門学校に行く事を考えていましたが、就職希望に変更しました。
- 専門学校に行こうか悩んでいたようですが、交通費も高額になるので、諦めて就職することにしたようです。
- 専門学校を希望していましたが、経済的な理由で就職に変更しました。
- 大学を諦め就職にしようと考えている。
- 大学受験は公立以外は厳しい。進学から就職に変更するか。
- 働く方向になっている。
- 物価高騰で出費が増えたので貯金ができず、進学を諦め就職にきりかえた。まだ下に2人兄妹もいるので。
- 本当は大学進学を希望していましたが経済的な理由で就職してもらいました。
- 本当は大学や専門学校に進学する選択肢もあったはずだけど、金銭的に厳しいので就職してもらうしかない。
- 進学しないで就職する方向にしました。

➤ それ以外の進路変更・進路選択の制限

- お金のかかる私立大学や専門学校を諦め、国公立一本で受験予定。落ちたら浪人するしかなく、その場合も予備校に行かせられないかもしれない。
- もともと、国公立のみで、私立は受けさせない。専門学校が滑り止め。
- 所謂、滑り止めと言われる大学への入学金や受験費用が嵩むので、志望大学、学部数は最低限にするよう説得した。
- 大学受験の滑り止めの数を減らした。
- 進学先を公立にかえてもらうよう、説得中。
- 私学医学部には行けないは元より、地方の国立医学部も1人暮らしは経済的に無理なので関東国公立に進まざるを得なくなった。
- 私立受験なし、自力で行けるところのみを受験することにした。
- 学費の安めの進路のみ許可している。また、進学後は奨学金利用をしてもらうよう伝えている。

- 県外の私立は無理です。
- 学費等が高い、または通学にお金がかかる学校は諦めてもらった。
- 生活費が高い都市部への進学を諦めた。
- 県外の進学が難しい。
- 交通費がかからない通学先を選んだ。
- コロナ禍で勤務時間が減り、収入が減ったので、家から出るのは難しいかと思い、夢を諦め、地方の大学ではなく地元の短大へと志望校を変更した。
- 行きたい大学は通学費がたかくて、少しでも安くなる方に決めてくれました。
- 県外は学費以外の生計費、県内でも寮費や交通費、遠方への進学希望を諦めた。どちらかといえば家庭の都合で諦めさせた。
- 元々困窮しているので、通える所というのが条件でしたが、通える範囲というのを狭くせざるを得なくなりました。希望進路は関係無くなって来ている状況です。受けたい所は色々あったのですが、申し訳ない気持ちです。
- やりたい事や学びたい学校が遠くて下宿する費用がなく、近場の学校へ通学せざるをえない状態だねと話しています。
- 望んでいた大学が遠方にあり、交通費がかかる。また、県外にある為少し学費が高くなるなどの理由で違う大学に行くように進路変更を決めた。
- 本人が志望する大学が他県のため、私自身が金銭面での不安があるので、それを子供が感じ取っていて、志望校を変更する考えがあることを相談された。
- 本当は県外に進学を希望しているようだが、諦めているような気がする。親としては本当は気持ちを優先して応援してあげたい。
- 塾もあきらめ、自宅から通える国公立大学しか目指せなくなりました。
- 進学したいのなら学費が安く近場の学校を選ぶしかないので行きたい所に行けない。
- 理系から文系学部へ志望を変更した。
- 理系はとにかく学費が高すぎるので行きたいと言った学校は中でも学費が高いので志望校を変更していく予定です。
- 行きたい大学ではなく入学金の安い所や免除等があるところを探した。
- 具体的に影響となる事柄はないが、進学とバイトが両立できる学校を選んでしまう。大学院や研究者などの進路を検討しない将来を考えてしまう。
- 学費の援助はできないので、自分で奨学金を借りていける範囲の大学にする。
- 大学には行かせられないため、短大か専門で選ぶようにしてもらった。
- 大学に行きたかったが専門学校志望にかえた。
- 大学を希望していたが、金銭的理由で専門学校への変更をした。
- 成績が上がらず大学無償化の基準の評定平均に届く事が難しそうで大学進学を諦めさせることになりそうです。
- 大学は諦めた。
- 金銭的に厳しかったので大学受験を諦めさせました。
- 大学の費用で夢を諦めるかも。
- 貯金ができないため大学進学を諦めてもらうよう話し合いをしている。
- 合格しても、お金が準備出来ず諦めてもらう事になりました。
- 進学を希望していたが卒業まで金銭的に難しく思って断念。
- 進学を諦めた。
- ほとんどアルバイトの為、勉強ができないし進学を諦めている、非常に親としては辛い立場である。
- 子供達が欲しい物や進学先を諦めさせた。

- 受験生なのにアルバイトをする…といい始めた。進学しない…とも。
- 受験を辞めると言い始めました。
- 専門学校に進学を考えているがあきらめるしかないなあと思っています。
- 専門学校や、大学に行かせてあげられない。
- 航空業界希望でしたが、諦めました。
- 大学の進学先がしぼられてしまう。
- 入学金や授業料が高額で今の状態では無理だと子供が諦め安くて看護科のある志望校に変更した。
- 成績が落ちたので志望校を変更しました。
- 地元への進学を希望していたが、学費が捻出できず、奨学金でなんとか進学できそうな地方の学校に変更しましたが、バイトをして生活費を出さないといけないため、学業に支障が出ないか心配しています。
- あちこち払う受験料も大変だし、塾に通わないで今の成績でA0で入れる学校に進学を決めた。奨学金も通して何とか…卒業まで通えるかは不安です。
- 見学に参加した専門学校の学費が思っていた金額より高く支払い困難で諦めてもらいました。
- 専門学校の入学金が借りられるか分からなくなり、急遽進路を変更になるかもしれないです。
- 今のところ進路の変更はないが、受験する学校選びに影響があると思う。
- 来年度の選択科目を希望通り選択させてあげられない。お金がかかるため。
- 養育費がもらえなくなってしまい、授業料、定期券代の捻出が厳しい為、転校を検討している事と、高校卒業後は語学留学を目標に頑張っていました。本人はその夢を諦めています。試験を受けるための検定代も出せないの、親としても子供たちには申し訳なく思っています。
- 来年度高校4年次をとり今年度の受験をやめ来年度に変更することにしました
- 今は進学が厳しいので高校4年目にし、再来年を目指すことにしました。
- 進路選択に迷いが生じている。迷いがある事で、精神的に落ち着かない感じがある。

➤ 不登校・転学・退学等

- コロナで中々学校に行けなくなり、友達との関係も悪化し、結果退学することになった。
- 高校を退学した。
- 夜間の定時制に行っていたが厳しくて辞めた。
- 学校に行きづらくなり、通信制高校に切り替えた。
- 私立の高校に通っていたが、経済状況が周囲の友達と合わず、クラスに居づらくなり、通信制高校に転学した。
- 不登校で高校浪人した。
- 不登校で自宅で勉強をしているのでひきこもりになっています。
- 不登校になった。また別の子は、奨学金制度等も返済出来るかわからない為、申請していたがやめてしまった。
- 不登校中で進学出来ません。
- 不登校になり留年しました。

➤ 塾・模試や検定の受検・参考書等購入が難しい

- コロナ禍で学校の勉強の進みが早く分からない事が多く塾に通うお金がないです。
- 家計の急変や物価上昇等があり、積極的に進路の話をしづらく、塾等に行かせることも出来ませんでした。
- 過去問を購入したかったが、やめた。塾は高すぎて無理。
- 学校だけでは勉強について行けず、塾に通わせるお金もないので進級が危ないです。



- 希望の進学を叶える為には、塾や予備校に通いたいのですが、経済的に厳しく通えません。自宅学習に使用する参考書やオンライン学習ツールを購入することも難しいです。物価上昇で家計には大打撃で、沢山の事を諦めている状況です。
- とにかく勉強を理解したいけど塾など到底続けられない。参考書さえ買えません。
- 高校1年生から本人は塾に行きたいという意向があったが、経済的に厳しく断念した。結果として志望校は変わらなかったが、学費は全て奨学金（貸与）でまかなう。
- 塾には行きたいようですが、行けません。自主勉強で頑張っています。
- 塾に通えないので進級できるか不安です。
- 塾に通わせてあげられる日数が少ないです。
- 塾に通わせられないため大学を諦めた。
- 塾に通わせる資金がないので、受験対策が万全に出来ません。
- 塾は行かずに独学で高校受験をし、この後の大学受験もその予定。もう少し支援があればとおもう。
- 大手の塾に行かせてあげられない。何校も受験の機会を作ってあげることができない。
- 6月に入塾しましたが夏期講習の料金がなくてそこから塾代が払えなくなりました。塾を辞める以外ありませんでした。進路は変更していませんが自力で受験はします。周りの子と同じようにしてあげられなくてただただ悔しいです。
- 受験させようと思いましたが、経済的に塾に行かせてあげられない。
- 塾へ通いたいようだが、経済的に無理な事を察知している。参考書も頼みにくい様子。
- 塾や参考書を買う費用がない。
- 塾や予備校にはいけないので、今ある学力での進学になり、さらに上を目指すという意欲がない。
- 塾や予備校に通わせる余裕がないので、図書館の自習室等を利用するなど、お金がなるべくかからない方法で頑張ってもらっている。
- 塾無しでの勉強に限界を感じる。高校の授業がペースメーカーであった為、特に休校期間に開いた学力差は後々まで大きく影響。心身共に大きな影響があった。
- 学校の授業についていけないが、講習会に参加する費用が出せずに、どんどん遅れをとっている。
- 進学を希望しているようだがその為の準備(塾や教材)が経済的に出来ないで本人もどうしていいのか困っているよう。甲斐性が無い親で申し訳なく思う。進学が出来ればその後は奨学金などで支援が有るのは知っているだけにとっても悩ましいです。
- 来年受験なんですけど塾に行かしてあげられない所です。
- 入試前でも塾等に行く事が出来ない。
- 塾へ行ける家庭と行けない家庭で明らかに差が出ている。
- 夢を実現するためには、周りの方のような進学塾や映像授業が必要だと感じております。経済的な理由で実現できません。
- 塾に行けない。英検等、試験が受験できない。
- 経済的に余裕がないので、塾や予備校には通えない上、参考書などの書籍購入ができないので、学校の授業後に教師や友人に教えてもらっています。そのため、帰宅時間が遅くなり生活リズムが崩れ、体調悪化にも繋がってきています。
- 模擬試験が受けられないので、今の成績が不明。すべり止めが受けられないので、希望校ではなく、安全校になってしまって、モチベーションがあがらなくなりました。
- 模試を受けたくても受けられなかったため、進路の判断材料が少なく、いつも「自分はどこの大学もきつと受からない」と先行きの不安を度々口にする。
- 模試を受ける回数も躊躇したり、受験に関して、受験料も高く、本人が望む志望校の受験方法 A0 などもいくつか受けさせる余裕がない。
- 数千円の受験料がはらえずに、号泣した。

- 受験料も躊躇してしまう。
- 最低限必要な回数の模試しか受けさせてあげられなかったです。
- 資格試験の受験の回数を諦めなければならない。
- 大学進学を希望しているが、塾を辞めたり、英検を受けたいと考えているが、そのお金を捻出できなくて、受けられない。
- OS 端末の購入があるのだが未だに購入できず学科成績取得ができずにいる。検定も受けられずにいます。
- 英検や漢検、模試などの試験にチャレンジできない。今、英検の2次試験の結果待ちだが、落ちた場合、1次試験は免除で3回まで受けられるが、受験料は同じなので、受けさせるか考えてしまう。
- 大学に行こうと思っていて毎年模擬テストみたいなのがあったけど行けなくなった。
- 大学進学を目指していたのですが その為に漢字検定などを受けさせようと思ったのですが余裕がなく諦めました。
- 参考書や技術書を買いつけたり、資格試験に挑ませたいのですが大変困難です。大学は家計の問題でずっと前より選択肢から外しています。
- 専門学校の教材を購入しようとしたが無理です。
- 志望大学の赤本でさえも、買うことに躊躇するようになりました。
- 通塾と参考書の購入を控えた。
- 電子辞書の購入をあきらめた。

#### ➤ 高校受験での影響

- 高校受験の際、私立の志望校を諦めた。本人も我慢している事は言わないが、仕方なく決めた学校生活はあまり楽しめていない。
- 高校受験をするのですが私立の学校には行けない。
- 高校受験を控えている長男と中学に入学する次男がいます。行きたい高校が私立だったため諦めてもらわなくては行けない。都立高校に落ちてしまうと入学金や制服など2人分は厳しく揃えてあげる事は出来ません。
- 下の子供については公立高校に行ってもらおうかと考えている。
- 私立に行かせられないので、都立の受検校のレベルを下げた。
- 塾も普通には行かせられなかったもので、区の開催している勉強会とある財団に応募して塾代のクーポンを頂いたので、有難い事に塾等で困ってはいませんが、本来なら通常のご家庭の様に併願で私立をと考えていましたが都立1本で行く事にしました。不安しかありません。
- 校区内で1番の進学校へ通いたいと言われたがバス代などがかかるため諦めてもらい、近所の高校へ変更をしてもらった。
- 収入減少などの理由により志望していた高校への進学が出来なくなり諦めてもらい他校へ進学する事になった。
- 普通高校ではなく、制服などが無い定時制高校に進学をさせた。

#### ➤ その他

- 子どもがやりたい学びについてますます話さなくなった。進路や将来について希望を聞かれても「でもうちお金ないから」と思ったり言ったりして、そもそも「本当はどういう学びや生き方をしたいか」と考える習慣がないし、ますますその傾向は強くなっている。「お金はどうかするから」と言っても物価上昇や年金や円の下落で貯金が目減りするのをニュースで知るので母子家庭の状況に絶望するらしい。あらかじめ諦めている様子。地頭がよい子だけに、歯がゆいし辛い。
- お金を稼ぐ仕事につきたいという気持ちが強くなった。私(母)を困らせない様に、いろいろお金

の面で気を遣ってくれる。

- 大学の入学金や学費が高く、学校の納付期限に学費を準備する事ができなかった。日本学生支援機構の奨学金は、入学後に奨学金が振り込まれるため、お金のない我が家は、入学前に学費を準備できなかった。諦めてもらうしかなかった。国の大学無償化や給付型奨学金もすべて入学後の為、一括で立替えなければならず、低所得者にはハードルが高い。入学前に入学金と授業料を減額して学校に振り込める様、制度的に見直しが必要だと思う。
- 数年働けば返済が免除になる地域枠推薦を検討している。
- やりたいことや、行きたい学校へこの先行かせてあげられるか不安です。
- 学費が払えなかった。
- 学費に消極的、不安。
- 仕事が厳しく、物価高くなるから、なかなか大学費用を貯まりません。
- どう考えても学費、入学金の支払いが困難。以前からのコロナで全く余裕も仕事も失いました。
- 生活するために進学のために貯金していた貯金をくずし生計を立ててる。
- 進路先は変えないで私が仕事時間増やして稼ぐ。
- 朝ご飯が食べさせられないため、お金がなくて、集中力に欠けてきた。
- 電気代を節約する為に学習する時間がとれなくなった。テストの点数がどんどん落ちている。
- 東京の学校への進学先の下見やオープンキャンパスへはなかなか行けない。
- パソコンもネットも繋げられないのでオンラインなどの学習ができないです
- 奨学金は絶対に借りたくないなので転校するのに学費の安いところを探した。
- 進学希望の大学が海外で、その国の経済状況が悪化し学費と生活費免除の枠が無くなった。

## 2.2 政府に伝えたいこと

政府に伝えたいことでは、自由回答で全 1019 件の様々な声が寄せられた。物価上昇では、食費や光熱費等が上がり経済的にも精神的にも追い詰められている状況、賃金が上がらないことへの不安などを伝える回答が目立った。コロナ禍については、仕事や収入への影響のほか、学校生活での制約による子どもへの影響を心配する声があった。困窮が深刻化する中で現金給付を求める意見も多かった。現金給付については、対象を非課税世帯に限らないでほしい、世帯人数を考慮した金額にしてほしい、一回ではなく継続してほしいとの声も見られた。また、現金給付への要望とともに増税について反対する回答もあった。

特に子育てにお金がかかるようになる高校生や大学生について、児童手当や医療費助成等の対象年齢引き上げを求める回答も多く見られた。子どもの学びについては、教育の無償化や授業料以外の費用の支援、既存の修学支援制度等をより利用しやすいものにする、不登校児への支援、塾など学校以外での学びへの支援を求める声があった。

ひとり親世帯に関連する回答では、ひとり親世帯の窮状（収入の低さ、就労における様々なハードル、頼る人のいない辛さや孤独など）、実質ひとり親や父子家庭も困窮していることを伝える回答があった。また、養育費の確実な受取りのための支援、児童扶養手当の見直し（所得制限や支給金額等）等を求める声も寄せられた。ひとり親以外にも、多子世帯の困窮や支援の必要性を求める回答もあった。また、世帯構成を問わず、非課税世帯から外れると却って困窮してしまうという制度上の問題点を指摘する意見も目立った。

苦しい状況が長引く中で、政府には困窮子育て世帯の現実を知ってほしい、一時的ではなく将来につながる支援・根本的な支援をしてもらいたいという回答も多く寄せられた。

表 2 政府に伝えたいことなど  
(自由回答、全 1019 件、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ 物価高騰の影響や不安

- あまりにも物価が上がっているのに、収入が変わらないため、本当に苦しいです。
- いろいろな物が高騰し生活が大変なのに支援が遅すぎるし、金額が少ない。毎月の給料が少なくギリギリの生活をしている。来年二人がダブル進学で不安しかない。
- お給料はそのままの光熱費、食費の高騰はかなり厳しいです。
- コロナの影響で既に苦しい経済状況だったのに追い打ちをかけるような物価の上昇で支払いの督促などにも悩まされて経済的負担に加え精神的にもギリギリに追い詰められている。子どもたちも無気力になっている。5年後、10年後を考えるのが怖い。
- コロナ禍で給料が減り苦しい中、物価高騰で節約しても出費がかさみます。稼ぎを増やそうにも、労働基準が厳しくなった為月の勤務時間の制限により働く事ができません。仕事を掛け持ちするにも、シングルマザーで子供を預けなければ働けないが、シッターさんをお願いするお金がありません。値上がり自体は少しづつかもしれないが、元々節約しながら生活していた家庭からすると、その少しが本当に命取りです。
- コロナ禍の収入減少で家計が打撃を受けたのが改善されないままこの頃の物価上昇でとても生活が苦しい状態です。所得が上がらないのに物価ばかり上がる世の中を改善していただきたいです。収入が高い方は物価が上昇しても娯楽をやめたり外食を控えるなど無駄な出費を控えればしのげるかと思いますが、もともと収入が少ない家庭では食費、光熱費でいっぱい生活していますので節約するところもなく本当に困っています。
- どうか光熱費上昇を抑えて欲しい。電気がない生活は大変です。この先どこを削れば良いのか、未来ある子ども達に、暮らしやすい生活をお願いします。
- ひとり親も困窮しているが、物価上昇は皆影響があるので国民全員に対して何か考えてほしい。
- 価格高騰で更に生活が苦しいです。
- 価格上昇はシングルマザーの私にとっては厳しすぎる。今まで安く手に入れていた食品なども、高くなりすぎて、手が出せなくなった。
- 給料はあがらないのに物価だけが上がっています。年金の保険料も上がり続けています。日本の将来に希望を見出せません。不安でしかありません。
- 給料が上がらないのに物価は高くなり支出が増える。こういった状況の支援を年内に行って欲しい。年越しが苦しい。私達のような言葉をもっと聞いて欲しい。
- 給料が変わらず物価上昇だけするのは厳しくなる一方です。どうにかしてほしいです。
- 給料は変わらないのに物価が高くなってますます苦しい生活になりどうにかしてほしい。
- 急に物価の金額がどれもあがり生活苦です。
- 子供優先で食べ物や衣類を買っているが物価の上昇で必要な物も買えない時がある。部活など学校で購入する物が高すぎる。
- 電気ガスが高くてこの冬を暖房つけないと決めたが冬を越せるのか不安。
- 光熱費、ガソリン代高騰どうにかして下さい。
- 光熱費、食料品等の値上げは、生活費に直接影響するので、本当にきついです。
- 光熱費が高すぎて生活するのに普通に暮らせないほど影響があります。特に安全面からオール電化の賃貸でしたので、電気代毎月一万近くあがるのは、対処できません。すぐにも引っ越しできませんし、食品も高く買えないものもでてきてます。
- 光熱費とガソリン代を安くして欲しいです。このままだと生活に困ります。
- 収入は悪くなるかわからないのに物価はどんどん値上がりしてどうやって生活していけばいいか分

からない。子供たちに当たり前のことを当たり前にしてあげたいです。

- 収入は上がらないのに、引かれる税金は多くなり、物も高くこれ以上無いくらいに節約しても生活がどんどん苦しくなります。何のために生かされているのか？国にじわじわ首絞められて苦しくさせられている様な感じがとてもします。自分達に都合良く政治をするのではなく、国民の為の政治をして欲しいと思います。
- 覚悟して母子家庭にはなりましたが、やはり経済的には厳しく給料変わらず物価ばかりあがるのは辛いです。
- 子育て家庭は物価上昇の影響を強く受けている。もっと早く多くの支援が必要だと感じる。
- 子供たちの文房具、服や靴も買えず我慢してます。もう少し助けてもらえるとありがたいです。毎月とは言いませんがこの物価上昇で今までもカツカツだったのでどこを削ろうか分からない状態です。
- 子育て支援策があると助かります。物価上昇で家計にも負担が出てきています。
- 色々な物、サービスの値上げがいきなりの感じがします。緩やかではなく急に支出が増えると途端に家計が厳しくなる。多少は覚悟していましたが想像のかなり上に行く負担増のため、節約するところがなく厳しいです。
- 食品の値上がりで今まで買えてた物が買えなくなりました。暮らしがもう少し楽になるよう対策をお願い致します。
- 食品の値上げは低所得者には命に関わってくる位大きな問題なので、ほんの少しの給付金では助けにならない。
- 食料品や日用品など、全てが値上げしており、本当に困っています。電気代も高くなり、光熱費の出費もバカにならないと感じています。この冬の在宅勤務中は極力暖房をつけず、外出用のダウンコートを着用して過ごそうと思います。今まで通りの値段に戻ることはもうないのでしょうか。将来が本当に不安でしかないです。
- 身の回りの物価高騰が一層、増してきたと感じます。食料品の値上げは、特に実感しています。これから冬に向けて、光熱費もかかります。生活を工夫しながら、無駄遣いしないようにしています。生活防衛もこれ以上は難しく、賃金の引き上げや、中高生のいる家庭への給付金の検討をお願いいたします。
- 水道光熱費がとても厳しいです。
- 全てにおいて物価上昇になり、お給料では追いつきません。死にそうです。
- 全ての物が値上がりしているにもかかわらず給料は上がりず生活がとても苦しい。節約ももちろんしているが、節約にも限界がある。これ以上の節約をすると体調などに影響が出てしまう。でももっと節約しなければ生活ができない。どうしたらいいですか？
- 早く物価高を何とかして欲しい。
- 日用品と食品の値上げにより、家計を圧迫しています。子供達には寂しい思いをさせたくないの、支援をお願いします。
- 普段からギリギリの生活でしたが、物価高騰で食べることもやっとの生活に変わりました。子供への影響は確実に出ています。子供だけでも安定させたくて毎日必死です。どうか未来ある子供達に手厚い支援をお願いします。
- 物価、光熱水費は上がりましたが、給料は上がりずボーナスはカットされました。生活水準は下がるばかりです。食料品も健康的や、安全な食品より安価なものを選ぶことが多くなり、健康面でも心配です。国からの補助は出ているようですが、本当に必要な人、場所へ届いているのか今一度確認していただきたいです。
- 物価があがると厳しいです。
- 物価が高く、スーパーへ行っても何も買えず帰宅し頂いたレトルト食品で子どもと食事をする事が

増えました。

- 物価が高くなったわりには、給与が少ないので、生活状態が悪くなります。改善して欲しいです。
- 物価が上がったり何かと生き辛い日々が続いていますが、これからの生活が不安であり、安定した日常が送られる世の中になってほしいと思います。
- 物価が上がっても給料はあがりません。早急な対策をとってください。ひとり親だけでなく、他にも苦しい方がたくさんいるとおもいます。
- 物価が上がり、給料は増えない、子供は進学を控えている等お金に余裕が無いので早めの支援をお願いしたいです
- 物価が上がり、子どもたちも成長し出費が増える一方なのに、手当は減り給料も上がらず、貯金も満足にできず、将来が不安でなりません。
- 物価が上がり、毎日食べていくだけでもいっぱい입니다。高くても買えないものも多く、もう限界です。
- 物価が上がる一方で、給料は上がらない。そればかりかコロナの影響で様々な仕事が打撃を受け、未来に希望を持ってない。
- 物価さがらないなら給料あげてほしい。あがらない。
- 物価だけ上がり給料は減っています。中小企業の賃金が上がるような政策を出してください。このままでは生きていけません。
- 物価の高騰で生活がとにかく苦しいです。特に光熱費にお金が非常にかかるようになり子供たちに我慢させることが増えました！国民の生活が豊かになるように早く対策を取ってください！日本は他国に比べ対応が全て遅い。このままで円安が続けば国民は生活ができません、特に低所得者は苦しいです。生活保護の基準も見直すべきです。価格が高騰しているのに生活水準が不自由すぎます。
- 物価の上昇で生活が苦しいです。もっと支援などをしてもらいたい。
- 物価の上昇に伴い、賃金も上げて欲しいです。
- 物価の上昇等で家計のお金は上がる一方、賃金があがらないことに苦労しています。
- 物価ばかりが上がり、給与は上がらず生活が厳しいです。ひとり親として子どもの将来が経済的に不安でたまりません。子どもが我慢しないで生活出来る世の中になって欲しいです。
- 物価も上がり、苦しい日々を送っています。子供たちが学校で使う文具や食料など支援頂けるととても助かります。よろしくお願いします。
- 物価高のしわ寄せは子供へいくので、子供たちが健全な成長ができるような対策や支援を考えていただきたい。
- 物価高の影響で生活が厳しく、母子世帯には余裕がない。
- 物価高は仕方ないと理解できます。しかし、とにかく早急に収入が上がらないと生活できません。
- 物価高への対応を早急に実行してほしい。
- 物価高を何とかして欲しい。生活が苦しい。
- 物価高騰しているのに賃金が上がらないと生活していけない。
- 物価高騰による支援をしてほしい。
- 物価高騰に対して何か対策をして欲しいです。
- 物価上昇により、日々の食費を賄えなくなり、生活がくるしいです。病院へ行くこともできません。
- 物価上昇による家計の影響が大きいので、支援策を増やしてほしい。
- 物価上昇に合わせて、支援を増やしてもらいたい。
- 物価上昇に伴い生活が苦しいです。貯金を崩しています。助けて下さい。
- 物価上昇は本当に生活するのが厳しいです。スーパーに行っても高いからやめようとかばかりです。光熱費も上がって家計が苦しい。
- 物価が高くなっているのに、賃金が上がらないのはおかしいです。物価高に見合った賃金の上昇を

望みます。

- 物価を上げるだけではなく、働く賃金もあげてほしい。
- 物価高、なんとかして欲しい。
- 物価高で生活はさらに厳しくなりました。子供たちは穴のあいた靴下を履いて、学校に行きます。なかなか買ってあげられないです。親として申し訳ないです。
- 母子家庭だけではなく、今日本中に生活に困られている方が増えたと思います。物価の高騰にもう生活がついて行けません。助けて欲しい。
- 物価上昇をどうにかして欲しい。実感的には増税されている気持ちです。消費税の減税など単発的なものじゃない対策をして欲しいです。
- 本当に、本当にきついです。なんでここまで値上がりするのか、寒い寒いと言う子供を見ていたら生きていくのが辛くなってきました。
- 本当に色んなものの値段が上がって生活が逼迫しています。買いたいものもすぐには手が出ません。対策を早くして欲しいです。
- 日々節約していても、光熱費等の出費が膨らんで行く一方です。非正規雇用を抜け出せるよう、頑張りたいですが援助もお願いいたします。
- 物価も上がり続けていて、本当にしんどいです。もっと低所得者やひとり親家庭に目を向けてもらいたいです。コロナワクチンにものすごい予算を出してますけど、それより日々生きていく人間の生活のほうが大切だと思います。ぜひ少しでも生活が楽になるように支援をお願いします。
- 物価高騰で経済的に厳しい状態が続いています。継続的な支援をしてほしいと思っています。
- 物価高騰で死活問題です。給料増えないのに出費が増えてマイナスです。生活保護の申請も検討していますが、うちは多子世帯で障害児もいるので車が使えなくなると学校への送迎、買い物などが出来なくなるので今度は外出が出来なくなります。マニュアル通りではなく、もうすこし世帯の状況を見てほしいです。
- 物価上昇しても賃金は上がっていません。
- 物価上昇で更に苦しくなっているので継続的な支援があれば助かります。
- 物価上昇によって、今までの生活ができなくなることや更に厳しくなった実態を把握していただきたいです。母子家庭への影響はとても大きいと思います。母子家庭への支援を考えていただきたいです。
- 物価高騰での低所得帯への支援が少なく、遅く厳しいです。更に2024年には消費税を15%にしようとしていると聞き、もしそうなれば生活できる気がしません。
- ひとり親、貧困家庭に限らず国民全体が物価高騰で困ってます。政治家の給料は下がらない、国民の生活はきつい。なぜ国民が困窮しているのにも関わらず税金値上げなど考えているのかわからない。
- まだまだ値上げは続きそうだし諸々の税金も上がりそうで恐怖です。子ども達の未来は明るくなること願います。
- 物価が上がり続けていて出費がかなり増えています。給付金の支給や税金対策を至急お願いします。
- 物価の上昇をなんとかしてほしいです（消費税を減税するなど）。
- 物価はどんどん上がっていて、何もかも高いと感じている。たまの楽しみの回転寿司やファストフードなども高くなったので、いつもよりも1000円多く払ったりがキツいために外食も行けない。なぜ、消費税の減税など個人が払う税金を一時的でも下げないのだろうか。
- 世間でも言われているが、収入に対して物価高が大きくなり、大変苦しい状況。支払いを済ませると手元に残るのはごくわずか。貯金に回すお金がなく、来年受験となるが、高校への進学、大学への進学がちゃんとさせられるか不安。
- 何もかもが値上がりし、とても生活が苦しくなっています。少しでも良くなるよう、取り組みをお

願います。

- 給与は上がりず物価の高騰が止まらない中で継続的な支援を早急に対応していただきたいです。
- 給料はあがらないのに物価だけがあがっていくことをもっと真剣に考えてほしい。低所得世帯ばかり得をする政策はどうか？中所得世帯は道市民税を払い、ギリギリで生活していることをわかっていないと思う。
- 物価上昇、円安にも関わらず、給料が上がらない。日本は衰退するばかりです。どうかしないと、今後の日本の経済が心配です。子供達の未来が不安です。
- 物価の上昇により、大きな打撃を受けている家庭は数えきれないほどだと思います。早急にどんな形であれ、支援して頂きたいです。
- 値上がりばかりでとてもしんどいです。
- 値上りして、躊躇して渋ってます。全てにおいて、かなり節約してるので、もう削るところはないです。我家の私生活を見に来ると、さぞ驚く事ばかりだと思います。想像できないと思うので、1つ1つお伝えしたいくらいです。裕福な家庭には、支援は不要と思います。ゆとりある生活だと、子どもの成長が豊かな物でしょう。政府の方をはじめ、裕福な家庭のお子様は、羨ましいです。
- 日々節約しているのに、去年より電気代の節約は難しいと思う。
- 生活必需品が値上がりしているのに対して給料は1円も上がっていない。生活はどんどん苦しくなるばかりで子どものために自分を削るのも限界があります。本当に生活が立ちいなくなる前にどうかして欲しいです。
- 賃金上がりず、物価高についていけない…。こどもは習い事がしたいと言うが、月謝だけでなくほかに多額の費用がかかり、通わせてあげられない。
- 地方に住んでる私達はきっと全国の中でも時給が低くどんなに頑張って働いても今の物価高では暮らしていくのが精一杯です。給付金とかもありがたいけどすぐに消えてなくなり意味がありません。本当に苦しいです。辛いです。
- 収入が上がらない。物価は上がる。高校生になり食費代がかなり掛かるようになりました。食べざかりの高校生を抱える親は生活が本当に厳しいです。沢山買っても足りないです。そんな時は私の分を食べさせています。我慢をしている我が子を見るととても辛いからです。

➤ コロナ禍の影響や不安

- コロナウイルスの影響で必需品となったマスクや消毒液などの購入が必須となっている。以前は必要の無いもので購入は特にしていなかったし、マスクは手作りで間に合っていた。しかし今はマスクも不織布限定などの場所もあり、絶対に購入しなければならず出費が余計に増えている。
- コロナが完全に終息するまでは保育園の休園や学童の休所、学校の休校で仕事を休まなくてはならず、生活が苦しくなるので休業支援金が早く簡単に申請でき、且つ、休みの間にかかる生活費を補助してもらえ給付金を望みます。
- コロナで職を失い、生活のためバイトをしながら食いつなぎ、新しい職場が決まった矢先に前年度の所得で扶養手当が打ち切られた。とにかく生活が苦しい。
- コロナの影響で仕事もまともに行けない事に加え、物価高でとても厳しい状況が続いて、家賃も払えない状況でこのままでは住む所もなくなります。早急に1人親に継続的な支援をお願いします。
- コロナの影響でリモートワークになり収入が減りました。収入が増える見込みもなく、障害を持った家族のサポートもあり転職も出来ず、物価も上がり本当に困っています。大学進学のための資金を貯金していたため、生活困窮者自立支援金に申込する事も出来ませんでした。もう少し柔軟な支援をして頂きたいです。
- コロナの影響は続いており一向に改善されていません。物価高等で買える物も限られ食べる物がなく見切り品で凌いでいます。夜 子供が寝た後はスマホの明かりで家事をこなし 窓には段ボールを



立て寒さを凌いでいます。国民の底辺の生活を知って下さい。

- コロナ前の経済に戻して欲しい。仕事をしたくても仕事がなく、物価が高いのは、生活保護者には、とても厳しい、まして子供の多い家庭では大変厳しい生活環境である、どーにか改善お願いします。
- コロナの規制をはやくなくしてほしいです。学校の行事がいまだにすべて中止です。
- コロナや物価高騰はどうにもならない事もありますが、色んな事を我慢するということに段々と慣れ、それが当たり前の世の中になっています。昔のように、当たり前に学校行事を楽しんだり、マスク無しでの行動をしたり、食べたいものを食べたりしたい。いったい第何波までコロナは続くのか…未だに世界で起こる戦争の影響はどこまで…様々な人が色んな不安や影響を受けて、それでも必死で生きている現状が早く改善される事を願うばかりです。
- コロナを2類から外して、子どものマスクをやめさせて、全ての学校行事を制限なくし、参加する保護者の人数制限もやめて、コロナ前に戻してほしい。
- 学校の活動が以前のように行えないので、子どもが楽しみなイベントが全て中止や短縮になり、楽しみがなくなりました。
- 現在中学生の息子がおります。小学校最後の運動会や修学旅行もなく、我慢してばかりです。普通の生活をしたいです。
- ひとり親、子育て世帯に限らず、みんなが平等に平和に生活できるような政策をしてほしい。コロナで、子供たちの学びが止まるのだけはやめてほしい。
- 子供のためにも早くマスク無しの生活にしてもらいたい！黙食もやめてもらいたい。基本屋外ではマスクしなくていいことを大っぴらにハッキリと公表してもらいたい！大人が言わないと子供はマスクを外せない。可哀想。働き方改革で生活が厳しくなった家庭がいることを理解してもらいたい。迷惑でしかない！
- コロナ前の生活に戻せるように努力してほしい。
- コロナ落ち着いてきたのでコロナが影響での支援は終了すると言っていたが、未だに影響が出ている人もいる事を知って欲しい。
- マスクの常用(不織布を指定される)により定期的な出費が痛い。ネットでも使える補助クーポンを発行して欲しい。
- マスクをまるで、強制みたいな現実を変えてください、自由選択にしてください。学校やスーパーで放送声かけしたりして決まりにしないでください。マスクの出すゴミや身体への影響がもはや悪。いま、コロナは変化しています。マスクしたい人はすれば良い。したく無い人に自由を。
- マスク自由化、ワクチンをなくすこと。
- 家族にコロナ陽性が1人でてから家族が順番に陽性になり半月以上働けてません。その間の給料はなく欠勤扱いの為ボーナスもカットされるのに、家族全員が家に居て費用もなかなかでした。まだ、復帰できてないのでその後も不安です。たびたび保育園がコロナで閉鎖される為その都度休まざるをえないこともありなにか対応策があればなと思います。
- 子供がコロナで、仕事を休むしかないが、有休もなく、給料補償がないので、生活が厳しいです。
- 母子家庭で子供5人育てています。母、子3人コロナ陽性になり、買い物に行けず生活支援物資を依頼していますが未だに届きません。高熱続き子供の食事の準備もできません。お金は入らないので宅配の弁当等食事の支援してほしいです。
- 今すぐ過剰なコロナ対策をやめるべきです。そして無駄な制限をやめ、コロナ前と同じように全てをまわすべきです。やってる事の矛盾が多すぎて怒ってる国民が多数います。
- 家族でコロナに感染してしまい、収入は半分になってしまいました。毎月ギリギリの生活で収入減少になり、医療保険も降りない、会社からも支援がない、行政からも支援無し。

➤ 現金給付への要望

- この冬を乗り越えるのが厳しいです。節約はしていますが、どうしても必要な物もある為、現金給付などの支援があるとありがたいです。
- これからお金がかかる時なのに今後生活していけるのか不安。非課税世帯だけではなく子育て世帯に給付金をだしてほしい。
- これから生まれてくる子供に 10 万円分のクーポンなどではなく、今いる子供達にも 1 人 10 万円いただきたい。物価上がって給料安いままでは生活出来ない。
- とにかく早く助けて欲しい、限界です。金銭的支援を早急をお願いいたします。
- 2 人の子がいるシングルマザーです。本当につらいです。何歳以下とかではなく、全ての人に平等に、一律給付金をお願いします。みんなつらいんです。よろしくお願いします。
- もっと色々な事、本当に困ってる人はたくさんいます。もっと給付金などの支援をしてほしいです。
- 一律給付金を考えて欲しい。
- 物価が高くなってきて仕事の時間も減らされている中子供の誕生日やクリスマスに何もしてあげられないことも出てくるのでひとり親世帯に給付金をお願いしたいです。
- 物価高の影響がかなり出るので政府として早急な支援策をお願いしたいです。住民税非課税世帯の給付金などの支援を広げて欲しいです。
- お正月前に現金給付をもう一度して欲しい。世帯単位だと家族の人数によって、貰えたとしても、足りない。1 人 1 人にして欲しい。きっと、低所得の人だけが高騰しているのに困っているわけではないと思うので全国民に配って欲しい。
- 給付金も、子供の人数や世帯数に応じて金額を変えて欲しい。一人暮らしより小さい子供 3 人 1 人で養っている家庭の方が大変なので。
- 給付金を早急をお願いします。
- 支援金が欲しいです。
- 賃金引き上げと給付金をお願いしたい。
- 子育て世帯にとって物価高騰は生活に直撃するので、このままでは、食べてくのもやっとなので、これから、年末年始にかけて学校なども休みになり、さらに困窮してしまうので、早急に現金給付をして欲しい。
- 金銭的に補助をして助けて欲しいです。
- 物価高騰でも自治体が何もしてくれないので政府が一律現金給付金してほしい。毎日しんどいです。
- 物価上昇し、生活費が上がっています。子どもにはちゃんと食べさせてあげたいので、他の部分を切り詰めています。本を買ってあげたり習い事などできません。ひとり親や非課税世帯への世代給付金をお願いしたいです。
- 物価上昇で困窮世帯が増えているのでもう一度給付金をお願いしたいです。
- お金がありません。18 歳以下子育て世帯に今すぐ給付金をお願いします。
- プッシュ型といえど遅いです。一時ではなく持続して支援していただかないと事態は変わらないかと思えます。物価は上がり給料は減る。ガス代負担もプロパンなので元から高いし。みな平等にして欲しいと思えます。
- 1 世帯の給付金だけでは、追いつかない。以前のように 1 人に対しての給付金だったら滞納してる場所に支払っても少しは、子供達の為に使える。このままだと飢え死にしていまそう。
- 一回で終わる支援ではなく定期的な支援金を出してほしい。
- 一時的ではなく継続的にやって頂きたいと思えます。一時的にやる場合は、金額を増やしてほしいです。五万円は滞っている支払いでなくなってしまう。
- 一時的な給付金ではなく、しばらくの継続的な給付金をお願いしたいです。
- 一時的な五万円給付ではなく、持続的な給付をして欲しい。
- 少しずつの金額支援を、何回もせずにどんと金額を増やしたのにするか、しばらくの間定金額を支

援して頂きたい。

- 給付金など一時ではなく、継続してほしい。
- 金銭的な補助を継続的にお願いしたいです。
- 毎月生活貧困家庭への補助金を出して欲しい。いつもお金の工面の事が頭から離れない。
- 物価が上がる前から収入が少なく生活が困難なので支援金の回数が増える事を願います。
- 低所得の家に給付金など欲しい。
- 電力・ガス・食料品価格高騰緊急支援給付金が一世帯当たり 5 万円は少なすぎる。1 人世帯と 5 人世帯でも同じ金額は納得がいかない。公共料金も食費も人数に応じてかかる金額が違うので。

➤ 増税反対

- これ以上税金を上げないでください。働いても働いても物価上昇が賃金上昇に伴わず、このままだと生活が出来なくなります。
- 消費税をあげないで欲しい。
- 消費税をなくしてほしい。
- 消費税を減税にすれば、すべての人に支援していくことになるので実行してほしい。
- 消費税増税するなら、贅沢品のみにしてほしい。生活必需品（食料品など）への消費税は減税してほしい。
- 給料が上がらないのに、これ以上、税金を上げないでほしい。無駄な税金を使わないでほしい。せめて日用品と食品は税金を減らしてほしい。
- 税金安くしてください。
- 物価上昇に伴い家計が苦しくつらいおmoiをしているなか、十分な支援もなく、増税をしようとしているのはひとり親家庭だけでなく子をもつ家庭全てが苦しくなり子供が暮らしにくい世界になります。増税までして追い詰めるのはやめてください。
- 増税のニュースのたびに気が重くなります。
- 一時的な支援も、もちろんありがたいが、消費税など減らして欲しい。

➤ 子育て支援施策（児童手当、医療費助成等）の対象年齢引き上げ

- 18 歳まで児童手当を受けられるようにしてほしいです。中学 3 年で打ち切られた児童手当、月 1 万でもだいぶ助かっていました。義務教育が終わりましたが、義務教育の時より高校生はお金がかかります。
- 2 歳までより、高校生の生活費の方が、断然多い。低所得者層でも生活に不安なく進学出来るよう、政策を考えてもらいたい。
- お金がかかるのは 0~2 歳までではなく高校までが一番かかるので給付金を出して下さい。
- もう少しお金の支援、給付金など子供に対する学費免除など考えてほしい。特に中学校までより高校からのほうが学費がかかるため、支援金がまだまだ足りていない。
- 高校生になると、子供がアルバイトなどできるからと色々な支援がなくなるが、医療、食事等、小さい時よりも金額がかかるので、何か支援があると嬉しい。高校生になると非課税の世帯以外ほとんど支援対象にならない。働かない、働けない、働いているけど厳しいなど、現状をちゃんと調べて欲しい。
- 高校生は、一番お金かかるのに、給付金がないのは、おかしい。
- 高校生は毎日お弁当の為、小・中学校の給食費より出費がかさみます…。それなのに高校生が児童手当の対象じゃないのは何故でしょうか。本当に厳しいです。
- 高校生までもらえるように児童手当の年齢を上げてほしい。
- 再来年には高校生になります。高校生も児童手当てを支給して欲しい。双子なので一気にお金がか

かり不安で仕方ない。

- 児童手当を高校生まで受け取り出来るようにしてほしい。
- 児童手当を高校卒業までにしてほしい。
- 児童手当の年齢と金額の引き上げ。子供は成長につれ出費（食費・学習費など）が増えます。高校、大学進学させてあげられるように。
- 小さい子供だけでなく少し大きい子にも支援が欲しい。児童手当を高校卒業まで、多子家庭には増額してほしい。
- 来年から高校生が2人、中学生が1人になりお弁当の食費が増えます。でも児童手当は無く栄養のある物を食べさせたくても食べさせてやれません。生まれてすぐの時より高校生の方がお金がかかります。体も大きくなり、制服や靴等もすぐ着られなくなります。履き古した靴を下の子が履いている状態です。児童手当を高校3年生までにしてほしいです。今一番政府にお願いしたいです。
- 小さな子供達に対する支援は行き届いてきているが、高校生以上が厳しいです。
- 一番お金がかかるのは、食も勉学も18歳以降だと思います。
- 18歳までは手当があるが実際お金がかかるのは大学、専門学校など進学してから。就職した子どもと進学した子どもを持つ親では負担がかなり違って来る。全て国に面倒を見て欲しいというわけではないが、免除される授業料元々私大では額が少なすぎる。奨学金の負担も将来的に心配である。
- 18歳未満の子供だけでなく、大学生や専門学生にも支援をして欲しいです。授業料は変わらず、オンライン授業で入学から卒業まで過ごしています。18歳以上の子供にもお金がかかります。不平等ではないですか？
- だいたい18で無くなる援助の延長や、学校費用の補助。
- 大学生のいる1人親家庭も援助対象としてほしいです。児童扶養手当がなくなってしまったり、援助が全てなくなるので、不安しかありません。
- 子供への支援の年齢幅を広げてほしい（大学生）。
- 高校生までや18歳以下への支援だけでなく、大学生などへの支援も増やしたほうが良いと思う。
- 高校生や大学生もたくさんの費用が必要なのでどうかよろしく。
- 高校生や大学生を持つひとり親への支援もお願いしたい。扶養手当がなくなり、生活は厳しくなり、子供はバイトに時間をとられ、勉強に充てる時間がない。大きい子供は食費もかかり、被服代などにお金をかけられない事でみじめな思いをしているのがつらい。
- 産まれたばかりの子供の支援ではなく、1番学費のかかる、大学、高校の支援してほしい。
- 子どもが大きくなればなるほどお金はかかります。児童手当はもっと長く、高く設定してほしいです。児童扶養手当は満額の所得制限が低すぎます。先に申し上げましたが、子どもが大きくなればなるほどお金がかなりかかることを知って下さい。貧困イコール教育不足から抜け出せません。
- 児童手当を中学までではなく学生の間は援助して頂きたいです。児童扶養手当も18歳までですが専門学校や大学に進学されるかたもいると思うので社会人になるまでは援助お願いしたいです。給付金で大学や専門学校に通えるようにして頂きたいです。
- 実際に多額のお金がかかるのは色々な手当が無くなる高校生や大学生です。小さい子ばかりに手厚く支援するのではなく、もっと大きい子供へ支援してほしいです。
- 出産から2~3年だけが子育て支援の対象ではない。成人するまでのトータルで検討してもらいたい。特に児童手当の対象から外れる高校生からが出費が増え経済的負担が大きい。
- 子どもが20歳になるまで、継続的な金銭的な支援が必要です。現行の支援だと、中学卒業後の金銭的な見通しがもてない。負の連鎖を生む。
- 中学高校世帯に支援をお願い致します。乳児幼児より手は掛からない分お金が本当にかかります。
- 小さいお子さんがいるご家庭も大変だと思いますが、中高生がいる家はそれ以上にお金がかかります。小さいお子さん限定の施策は不公平に感じます。

- 小さい子への支援を拡充されているが、本当にお金がかかるのは高校生、大学生。
- 母子家庭への手当や母子の医療費免除を20歳まで引き上げて欲しい。
- もっと子供全員0歳から18歳まで給付金を増やして欲しい。生活が苦しいから。
- 今回、出産の補助金として10万円が決まったようですが子供が本当にお金がかかるようになるのは成長してからです。食べる量も増え教育費や衣類もどんどん買い替えが必要です。産まれた時だけでなく、継続的な支援がもっと整備されるといいなと思います。
- 子育てに関しての（特に中学生から大学生）予算を上げて支援がほしいです。
- 物価高による子供の補助（2歳までは10万円支給されると聞きました。）を学生（大学生、大学院生など）に広げて欲しい。
- 18歳までは児童扶養手当等の補助があり助かりますが、学費補助はありますが、医療補助もなく大学生になれば何もありません。大学生をもつ家庭の支援をお願いしたいです。
- 医療費を18歳まで助成にしてほしい。
- 中学までではなく医療費無料は高校までにして欲しい。
- 子供の医療費窓口負担500円をなくして、高校生まで無料にして欲しい。

#### ➤ 教育への支援

- もっともっと、どんな子供達でもお金を気にせず学ぶ事ができる国にしてほしい。
- 子どもが経済の格差なく学べる世の中を作ってほしい。
- 物価高に対する支援や、平等に学べる環境作りを整えて欲しい。
- 未来ある子供に平等な学びの場、高校、大学進学に対する費用を国で確保して欲しいです。
- 子供達が夢を諦めなくて良いように、高校、大学、私立も含めて、もっと経済的支援。無償化の幅を増やしてほしいです。
- お金の心配無く、子供が学びたい学校に行けるように大学まで早く無料にしてほしいです。
- 大学授業料無料にしてほしい。
- 大学まで授業料無償化にしてほしいです。
- 大学まで無償化になって欲しいです。
- 義務教育の完全無償化（私立、公立に関わらず）。
- 義務教育無償化にしてほしいです。
- 教育費の無償化。
- 教育費を極力無料にして下さい。
- 学校でかかる費用を支援してほしいです。
- 学費の免除、または補助。
- 大学の学費を少しでも助成金制にして欲しい。
- 出産や乳幼児の支援が手厚くなりました。それはそれで良いと思いますが、高校生や大学生、専門学校のような高等教育機関にこそお金をかけて全ての子ども達が苦勞せずまなべるしくみにしてほしいと思っています。現状、収入が少ない家庭は進学を諦めたり、貸与型の奨学金に頼らざるを得ない。卒業後に就職しても、安い賃金しか稼げず返済に追われる。生活が安定せず、若者は本当に大変だと思う。若い時に自由に学べる手厚い資金と制度、環境を整えて欲しいと思った。本当にお金がかかるのは学び、乳幼児より学べる伸び代がたくさんある高校生以上の学生、若者を支援してほしいです。
- 勉学に関わる支援をもっとしてほしい。ひとり親家庭では大学への進学費用の負担が大きい。奨学金とはいえ借金をしているのとおなじなので、大学の授業料の支援を手厚くしてほしい。
- 子どもが進路を諦めなくてよい制度を作ってほしいです。子どもが希望していた学校は奨学金だけでは足りず、授業料の減免による返金も年度末の成績を見てからで、次年度受験料などはその前

に払わなければならない、2年分の学費を捻出することは到底ありませんでした。子どもの希望通りに進学させてあげられず、とても悲しいです。

- 母子家庭でも大学費用が高い。子供が行きたい大学が選べない。妥協せざるを得ない。
- 学費（高校学費・大学学費・受験費用）がかかりすぎます。
- 大学の授業料が高すぎます。
- 国の大学無償化の制度をもっと使いやすくしてほしい。現在の制度は、入学後に、進学先の学校を通して学費が減免される（還付される）しくみになっています。低所得者にとっては、入学前に学費を全額準備をすることが難しいです。入学前に入学金と授業料を減額して学校に振り込める様、制度的に改善をお願いします。
- 大学無償化と言われていますが、支援内容が先ず入学金と前期授業料の立替えがあります。非課税世帯や生活保護世帯では用意出来ない家庭も多い為、制度を利用せずに諦めてしまうのではないのでしょうか。マイナンバー制度利用しているのなら立替え困難な状況を把握して欲しいです。
- 大きな借金を抱えたまま社会に出ることのないように奨学金の無償化や減額を考えて頂けないでしょうか？
- 大学も入学金払うのに大変です。三人家族で男の子二人。良く食べるし、10万ギリギリ給料いただいて支払い食事代払ったら残らないし、18歳から奨学金借りさせて何年も払うのは可哀想です。今の時代は大学行って当たり前ですからね。
- 大学生の給付型奨学金などはあるが、成績の条件があり、頑張っても上位の学校に進学しても生活資金を得るためにアルバイトをしながらだと条件をクリアできず結果、奨学金を給付されない。成績の条件緩和をお願いします。
- 給付奨学金の制度を作ってくれてありがとう、候補生にしてくれてありがとう。どうか大学卒業までお願いします。
- 高校は授業料以外の支出が多く、制服や教材費、部活や修学旅行代等、中学生の時より多くのお金が必要となります。奨学金も給付だと、かなりの倍率になってしまって、成績の良いお子さんの方が有利になっています。そもそもお金がないので塾にも行けず、成績が上がる事もないので、給付の奨学金を受けにくい状況にあります。みんなが平等に勉強出来る環境を整えてもらえるように、高校の無償化の内容をもっと充実させて頂けたらありがたいです。
- 高校の給付金・貸付の制度をもっと簡素化して意味あるものにして欲しい。わが家は最初に用意するまとまったお金が無いので本当に辛いです。
- 今回、高等教育の修学支援制度に該当しお金の心配なく行けることとなり感謝しております。
- 義務教育中の学用品、給食費はどの家庭も負担に感じています。ランドセル、お揃いのピアニカ、算数セット、必要ですか？
- 高校生になったら必ず iPad を購入しなければならない！！など、お金がない人にとって必ず！！という文言はやめてほしいし、実際、学校に通っているのだから、学校内での学校付与がたの IT 勉強にしてほしい。
- 今中学3年生の子供がいます。高校へ来年進学しますが1人一台タブレットかPCを購入するようになっていそうですが、教科書代や制服代など一気にかかる費用が大きく大変です。給食も無くなりますので、昼食代、携帯電話も持ちますのでお金がかかりすぎてしまうことが不安です。どうしたらいいのでしょうか
- 部活動で援助(年5万程?)はあるが、強化選手に選ばれるとそれをはるかに超える金額がかかり選ばれても合宿など行かせてあげられない事が多い為、非課税世帯など全額援助して欲しい。
- 部活動も就学援助制度の対象にしてほしい、子供の希望や夢を貧困で潰さない世の中になってほしい。
- 子供の教育費は、授業料以外にも色々必要です。先日も冬用の学校指定のジャンパーが6000円でし

た。個人名の刺繍もするので、後々ほかの方に譲るのも難しいですし、6000円もしない、市販の安いものがたくさんあります。学校に必要なものは、授業料と同じように無償化にするか、市販のものを購入させてほしいです。

- 中学校がお弁当の地域です。一刻も早く、給食にする様に呼びかけてほしいです。
- 生活費でいっぱい子供教育費が出せません。来年中学に入学する子供の制服代など入学にかかる費用や部活動の費用が心配です。このような出費で高校受験を控えている子供を塾に通わせること、通信教育をさせることができません。政府で何か具体的な対策をお願いします。
- 今や高校まで義務教育のような時代、学校費用は少なからず援助などあるが、交通費やお昼や学校で使用するものの援助があると助かります。1人親ですが一生懸命子どもを育てています。子どもを育てる1人親がパートやアルバイトでもしっかり暮らせていける制度があるといいと思います。学習塾には助成金などありますが、子どもがやりたいと思う他の習い事の助成金があるといいです。
- 学校に行きしぶりや不登校の子供に対する支援や対策をもっと考えてほしい。
- 学校生活が大変そうな中学生の息子がいます。先生を増やす、1クラスの人数を減らすなど、安心して教育を受けられる環境になってほしいです。
- 不登校に対する支援を広げてほしい。学校のスクールカウンセラーの予約が2ヶ月待ちの状態です。
- 地域の学校が合わない子どもが、安心して学び、育つ環境の選択肢が経済的な理由で限定される。私立、フリースクール、ホームスクーリング等、送迎や費用の面で諦めざるを得ない。
- フリースクールの助成、公立中学校のハイブリッド授業(自宅からオンラインで学べる)。
- 中学生の子供は、先生に怒られ、不登校になり3ヶ月目です。何のサポートもありません。教育もしっかり補償してほしいです。
- 子どもが不登校なので学校で給食が食べられず、食費の負担が大きいです。勉強面でも家でするだけなので、学力が心配です。ひとり親で不登校児への金銭面や教育の援助が欲しいです。
- 大阪府のように塾の助成金を他県も実施してほしいです。
- 子どもの未来を考えて、所得の低い家庭に塾などの支援をして欲しい。
- 塾の費用を援助して欲しい。
- 金銭的に厳しくて子供を塾に通わせることが出来ない。1人で勉強もしない。勉強道具や塾代の助成制度があると嬉しいです。
- 子供達に関しての学習の費用が高い。もっと学べる場を増やしてほしい。
- 子どもの学習支援をもっと充実してほしい。
- 塾や美術館・博物館など、学びの支援をお願いしたいです。
- 物価上昇で頑張って節約生活をしています。動物園や水族館や科学館など、遊びに行くこともなくなり、公園で遊ぶ機会が増えました。それはそれでとても楽しく過ごせているのですが、月に1回でもいいので、児童扶養手当を受けている家庭対象とかで、そのような施設の無料入園などをしていただけたら有難いと思います。
- 本当に親の資産と子供の学歴が比例します。予備校に行かずにまともに受験は本当にできないです。
- ひとり親の家庭の子供が十分な教育を受けられるように援助して欲しい。
- 学びたいのにお金がなくて学べないという子どもたちが学べる日本にしてほしい。パソコンがなかったり、ネットが使えなかったりなども。
- 全てのお金が均等にかかる分、いわば生活とは直結していない子供たちの教育に関するお金がほぼゼロに近くなり、学資保険なども解約せざるを得ない状況なので、全ての子の教育の機会がほしいです。

➤ ひとり親世帯の現状・支援

- コロナ、物価高…頑張っても、頑張っても、シングルマザーで、頼れる身内がないワタシには、しんどいです。子供達がいるから、どうにか生かされている状況です。
- シングルマザーで子育てもあるので、残業が出来ません。仕事も正社員の道もすたれ、収入は少なく、仕事の安定がなく、子どもも預かれなく、疲れが取れる暇がありません。これで、物価が上がったらお手上げです。手取り 13 万円です。フルタイムで働いてますよ。これに、ボーナスなし。退職金なしです、
- シングルマザーで実家で暮らしていると、世帯別でも支援が減ってしまう。これだけ物価が上がってくるしいの一緒なのに。
- シングルマザーで正社員で勤務していても家賃の支払いが家計を圧迫しているので何らかの補助をいただけたら助かります。
- シングルマザーの家庭はコロナ禍前から非正規雇用でしか受け入れてくれない職場が多く、未だ正社員雇用に至っておらず、毎月少ない給料で 200 時間以上働いて、子供たちにたくさん我慢させて生活しています。何かしらの対策を講じてほしいです。給付金や児童扶養手当を増やして、所得制限をなくしてほしいです。
- シングルマザーの声をもっと届け、同じ目線に立って物事を考えてほしいです。
- シングルマザーは、病気になると、一気に収入が減ったり、通院に、子供のこと、生活をまわすのにとっても大変な一年でした。子供が、遊ぶ公園すら、整備されてなかったり、おとなの溜まり場になったりするので、子供も行き場をつくってほしいです。
- シングル世帯の家賃助成もしくは低金利ローンを組みやすくしてほしい。家賃が高く引っ越しもできないので追い込まれてしまう。
- ひとり親（特に母親、年齢など）は就職が難しい。将来にとっても不安がある。頑張っても収入を増やしても母子父子の扶養が減らさるので、生活がとてもしんどいし、将来の事を考えると精神的にもやるせない。泣きたくなる。その場限りの支援ではなく、将来的に安心出来るような支援をして欲しい（子供の教育費や大学のお金の事など）。
- ひとり親でパート勤務です。フルタイムで働いても手取り 10 万満たない月もあります。非正規雇用の最低保証など見直しをお願いしたいです。
- ひとり親で給料も少ないのに扶養手当も減らされて生活できません。
- ひとり親で子どもの習い事など思いっきりやりたいことやらせてあげられないので（送迎や金銭面）、国からもっと気軽に習い事などに参加させられるような環境づくりをお願いします。
- ひとり親で低所得な家庭への支援をもっと真剣に検討してほしい。
- ひとり親で発達障害がある子を育てていますが、毎日心の波のあるこどもに振り回され、疲れていても家事、町内の会合、仕事は誰にも代行してもらえないことが辛いです。
- ひとり親にもっと優しくしてほしい。
- ひとり親に給付金を下さい。
- ひとり親に継続的な支援をしてほしい。一度の支給ではその時だけで根本的な生活の改善には至らない。国の未来を考えるならまず、未来を作る子供達の支援をしてほしい。
- ひとり親に対して更なる支援をお願いしたい。
- ひとり親の家庭がどれだけ生活が不安かもっと知って欲しい。
- ひとり親の給付金を持続してほしい。
- ひとり親の今の経済の厳しさをわかって対策をしてほしい。
- ひとり親の支援を充実させてほしい。
- ひとり親の就労支援に力を入れてほしい。特に生活保護から抜け出せない人に関しては役所で臨時職員として雇用するなどを検討してほしい。



- ひとり親の貯金、給料等を見てほしい。
- ひとり親ばかり！と周りから言われますがほんと収入が上がらず苦しいです…
- ひとり親ばかりバッシングを受けるような支援ではなく、こちらも世帯ではなく1人あたりの現金の方が助かります。
- ひとり親は収入の多少に関わらず、ひとりで全てまかない責任も背負っていくので、非常に心細い存在です。物価高に怯え、これからかかっていく教育費に悩み、常に日々の暮らしに不安を感じています。教育費を考えると私立に行くのは無理かもと、進路が狭まるのも悲しい現実です。親の収入に関わらず、子どもには等しく未来が開かれている社会を望みます。
- ひとり親への支援はもちろん、実質ひとり親への支援もお願いしたいのと、その実質ひとり親という状況が長引く原因になるので離婚調停、裁判が円滑に進むようにして欲しい。不貞行為、DV行為による慰謝料も物価の上昇などに併せて増額するようにして欲しい。
- ひとり親への手厚い支援にはいつも感謝しています。学校以外の教育費への補助があると嬉しいです。塾に行かせるお金がなく、ひとり親家庭の子どもは学力が低いと言われていますが実際金銭面で塾に充てるお金はないです。
- ひとり親家庭の子は塾にもろくにいけないため、成績もアップしなくて大学を諦めるか、偏差値の低い私立しかなく、私立に通うにはお金がない。ひとり親家庭の大学進学率を高めるために補助金やひとり親枠があればいいのと思う。
- ひとり親家庭、住民税非課税世帯で色々助けていただいており感謝しております。
- ひとり親家庭ですが、物価高とコロナ感染拡大で家計がここ数年マイナスばかりです。元の生活にはなかなか戻れません。
- ひとり親家庭でも、様々な家庭環境があり、頼れる身内が1人も居ないと本当に助けて貰えません。せめて、他のひとり親家庭よりも金銭面を考えて欲しいです。今、本当に誰にも頼れず苦しいです。
- ひとり親家庭の支援をちゃんと何に困っているかを把握した上でして欲しいです。自治体によって支援の差が激しいのでそこをもっとバランスよくして欲しいです。現金支給ができないとしても、住宅費、光熱費、通信費の補助があるだけでお金が浮くのでとても楽になると思います。
- ひとり親家庭の母は、非正規雇用が多いので、1番不景気の影響を受けてしまい、厳しい状況です。
- ひとり親家庭は精神的に辛い。物価高騰などの負担が重なると親の心が折れてしまいそう。
- ひとり親控除の額をせめて配偶者控除額と同等にしてもらえないでしょうか。旅行支援などの支援を優先的に申し込めるようにしてほしい。普段娯楽費は極限まで抑えているが、結局旅行支援も予算がいっぱいに早々になってしまい利用できなかった。日々忙しく申込み時間に時間を避けないので。時間にも金銭的にも余裕のある方を支援するよりも子供にとって体験という有意義な支援になると考えます。
- ひとり親全員に(要件問わず)支援をしていただきたい。食料支援も、ごくごく僅かな要件かつ限定された小人数しか支援されず困窮している家庭が多い。食料支援団体や自治体、子ども食堂への金銭の支援やひとり親家庭全世帯(少なくとも就学援助受給世帯まで)にフードクーポンや、全国で使える商品券の様なものを発行して欲しい。
- 一人親家庭は収入少なく、それを子供が知って自覚してるので我が儘を言ってこないです。家族で旅行に行ったことは一度もありません。だから学校の校外学習をすごく楽しみにしています。
- 1人親困窮家庭への支援を手厚くして欲しい。本当に生活が苦しいです。
- 気をつけていたけれど沢山のものが高騰する事で我慢を重ねコロナ陽性になってしまい隔離生活も重なり前向きになれない。ひとり親支援はまだまだ乏しく将来希望が持てない。助けてください。
- 五歳の娘のシングルマザーです。親同居のため、母子手当ても、医療費控除もしてもらえてません。もっと、母子家庭への公的支援充実させてほしい。あとは、高等職業訓練給付金も、母子手当てなくても給付してほしい。生活も精神的にもつらい。

- 自分の働いたお金だけで生活していきたい気持ちはあるのですが、養育費もらっていない、働いたら余計に税金取られる、母子手当は減らされるので貯金出来ない…。もう少しシングルマザー、シングルファザーに優しい国になって欲しいなと思います。
- 自分は、シングルファザーで二人の子供を育てています。子供は小学生で迎えに行ったりしなくてはならないので社員をクビになり非課税世帯になりました。生活も苦しくどうか父子家庭の手当でも考えていただけると助かります。宜しくお願いします。
- 女性も男性並みに優遇されるようにしてほしい。離婚後のシングルマザーの生活に対して補助をしてほしい。
- DV 避難者などで離婚も出来ない実質ひとり親にも支援の対象を広げてほしい。
- 私だけでなく、ひとり親の人はひとりの稼ぎで暮らしている人が大半だと思うので、自分が会社を休んだり辞めたりすれば、生活にすぐに響きます。物価の上昇に伴い、貯金もできずに、収入が減ればすぐに借金をするほかないのですが、社会的信用も低いので借金すらできないことがあります。ご支援をお願いします。
- 片親への支援を継続的にお願いしたい。
- 母子家庭、非課税世帯の支給はとってもありがたいです。でも、ネットニュースだと凄い叩いてる人がいます。母子家庭が暮らしやすい環境(偏見がなくなる)を作っていただきたいです。
- 母子家庭は皆様が思うより苦しいです。高齢化で年寄りばかり優遇されてますが、今からの子供達のために、もっと支援がほしいです。
- 母子家庭は自己責任というかたや、努力が足りないのではないかとと言われることもありますが、出来ることはしてます。ただ、物価の上昇のスピードについていけない。資格取得を目指し頑張っている人もいるし、生きるだけで精一杯の人もいます。仕事しても、給料得てもおいつかない。どうすることもできない。子どもに我慢をさせたくないが、どうしたって、集金にだせないときもある。だから、やめてもらうしか選択肢がなかったです。
- 母子家庭は生活が苦しいのはなぜか。当たり前のように母親だから家事をして子育てをして…仕事もして…それでも稼げる額はかわらない。子供が成長していくにつれてなんでも高くなる。だんだん疲弊していく日々。何かを変えるのは大変なことだけど国が変わらないと何も変わらない日本をどうかしてほしいです。
- 母子家庭は本当に苦しいです。フルタイム働いても給料は手取12万。ここから家賃、光熱費、食費、被服費、学校費、交通費、通信費、通院費等…あらゆるものにお金がかかりますが、この給料では賄いきれません。働いているひとり親に対し、国から会社経由で毎月五万円とか支給して欲しいです。シングルをやっている会社に対しても税金の控除をするなどしたり、派遣で雇っているひとり親を社員にしたら給料以外で上乗せがあるなど、もっと働きやすく長く続けやすい社会にして欲しいです。
- 母子家庭非課税世帯の人は高校、大学は授業料、入学金、教科書代、電車代など無償化にしてほしいです。子どもが志望している学校へ、実力があっても行かせてあげることができません。
- 母子父子、ひとり親等に対して取り残しのない支援をして頂きたいです。
- 母子家庭で厳しい。
- 本当に困っている母子家庭の事も助けてください。
- 頼れる親族もなく一人で子どもを育てていく片親家庭についてもっと知って下さい。
- 本当に困ってます。児童手当も出ないのに貰ってる方の支援ばかりで貰ってない私達も母子家庭です。
- 母子家庭です。頑張ってるべく休まず働いていますがパートですし、給料が少ないです。昨年に求職活動をしましたが、子育てと両立できそうな(事務系以外の)女性の求人はほぼありませんでした。現職は正社員登用制度がありますが、本当になれるのかもわからず…母子家庭に優先で正社

員の仕事を下さい！

- 私のような、私もひとり親の子供で、私自身が未婚のシングルマザーで…世間には言えなくて…普通のシングルマザーの様な支援になるのが遅いです…ようやく、ひとり親として、控除対象になりましたが…長かった…もう子供が10歳です。10年税金をしっかりと収めました。寡婦控除が羨ましかった。働いたら児童扶養手当減額なんて…おかしいです。
- 収入に関係なく、ひとり親の子供への生活費支援を一律金額支援してほしい。
- 手当の対象者を広げて欲しい。多胎児シングルマザーなどいっぺんに用意しなくてはいけないが用意できない。手当をまた支給してほしい。
- フルタイムで働いて、交通費を支給されても月収は10万円台である。現在親子2人で生活保護水準以下の暮らしをしていると感じている。この状態では、将来、年金の受け取りも数万円しかもらえず、老後の貧困生活は確定しており、日々の生活に希望が見いだせない。自分の生活も、日本も終わったなと思う。
- 父親が障害者の家庭は少なく、情報が少ない。児童扶養手当をもらっていても「ひとり親家庭」の枠に入れず応募できない奨学金などがある。「ひとり親家庭」の定義が離婚や死別だけでなく「配偶者の重度障害」や「配偶者の失踪」など色々ある事を広く伝えて、使える制度を増やしてほしい。
- ひとり親は頑張っても大人一人分の収入しか物理的に得られませんので、行政からのサポートや手当を手厚くしてほしいです。
- ひとり親への直接的ではなくとも金銭的負担を軽くしてほしい。完全無償化や家賃補助など。
- ひとり親等の補助金があり助かっています。
- 物価上昇の対策の、ひと世帯につき五万円給付では、母子家庭はきびしいので、母子家庭にはまた追加の給付を考えていただけたら助かります。
- ひとり親家庭の支援を増やしてほしいです。1番は、現金給付として。
- 切実に苦しんでいる母子家庭のことを把握して援助などもっと考えて即実行してほしいです。
- 働く母子家庭の子の教育支援や預かりの場、土日、朝と夜を作ってほしい。

➤ 養育費等

- 養育費が、自営業でも強制徴収出来るよう家族法の法改正を宜しくお願い致します。
- 養育費の取り決めをしても、逃げ得になっているのをどうにかしてほしいです。判決で決めています、一度も支払われたことはありません（相手は自営業）。手当や給付金より、そちらの法改正を望みます。
- 養育費がキチンと受け取れるように協力してもらいたい。
- 養育費さえきちんと貰えれば生活は改善されるが、もらえないため、国が相手から強制的に徴収してほしい。
- 養育費の義務化、養育費未払いの罰則強化してほしいです。
- 養育費の滞納についてもっと厳しくしてもらいたい。又、公正証書を作る際に、希望ではなく強制執行を必須としたものを作るようにしてもらいたい。強制執行の記述がないと、後からでは時間やお金がかかるため。相手の勤務先を調べるのに時間がなく強制執行を諦めています。休みなく働き、帰宅したら子供達の世話があり、余力がありません。
- 養育費の未払いが続いていて大変です。DVがあつて離婚したので、怖くて連絡は取りたくないです。養育費の請求の代行などがあれば助かります。
- 養育費の未払いについて、強制執行をするにしても中々取れない現実があるため、そこを何とかしてほしいです。我が家も息子の父親側からの養育費が未払いな為とても辛いです。しっかりと取れるように改正してほしいです。
- 養育費の未払いを法律に定めてほしい。裁判までして費用をかけたのに、仕事をやめた、の一言で

支払いしなくなり、それをまた調停や裁判するとなると、私は子育てで働かなくてはならないので時間もないし、手間もお金もかかります。お金がない上に確実な養育費をもらえるかもわからない無謀な手段です。国が立て替えて、父親に請求する、支払いさせる、そこまでの強行策を日本でもしっかりと対策してほしいです。私立援助がでてでも正直足りません。どうかどうかよろしくお願い致します。

- 養育費をもらうのが、当たり前のようにしてほしいです。相手の給与から、税金などと一緒に、養育費を天引きできるシステムにしてほしいです。支払わない場合は、罰則を設けてほしいです。
- 離婚調停から始まり、2年以上かけて、裁判所で手続きをしています。まだ先が見えません。決まりません。DVや虐待などがあり、家を出て、シェルターへ逃げ、今に至ります。私は今、子供達と一生懸命生きています。生きる希望が欲しいです。
- 養育費を確実におさめさせる制度設計、安全な面会交流が出来る仕組み作り。
- 養育費を確実に払えるようにしてほしい。産み逃げだけはさせないで。
- 養育費を義務にしてほしい。
- 養育費を強制的にもらえる制度を導入していただきたいです。
- 養育費を元配偶者から直接もらうのではなく、公的機関を通してもらえるようにしてほしい。
- 養育費を全く貰えてない。あればどんなに助かるか。もう少し養育費未払いに対する厳しい処置や救済があればいいと切に願う
- 養育費を早く給料から自動的に天引きを当たり前にして欲しいです。
- 養育費を逃げるために仕事を変えた元夫からしっかり養育費をもらえるように国としてちゃんと対策してほしい。個人では出来る事が限られているし、平日に仕事を休んで相手の住む市の役所に行って住民票やらなんやらの手続きは収入も減るし、本当に養育費を貰えるかも分からない賭けみたいな所があります。逃げ得は許せません！しっかり親としての責任を果たしてもらわないと困ります！
- 養育費を必ずとれるシステムにしてほしい。
- 養育費を払わない相手から強制的に支払うような制度を作って欲しい。
- 養育費算定表が少な過ぎる。ひきとる親が1人で担うことが多いのに、ここにきて物価もあがって負担です。
- 養育費問題を義務化して欲しいです。
- ひとり親が困窮する原因は養育費が支払われないことが大きいと思います。私は今はまだ養育費を払ってもらっていますが、いつ支払われなくなるか不安ですし、養育費の支払い強制執行をもっと強化してほしい。
- ひとり親には厳しい物価値上げになっています。一時的な給付などではなく、長期的な支援をお願いしたいです。養育費の強制執行を国の方で義務化して欲しい。
- ひとり親家庭への養育費の支援(未払いも含めて)が欲しい。
- まずは、養育費未払いをなくしてほしい。
- 外国では、父親が養育費を払わないと罰則があるのに、日本は何もない。離婚したばかりの母親や1人で出産している人には、相手と裁判できるような気力や余裕もない。子どもの面倒見るので精一杯。国が、強制徴収する制度になって欲しいと願っています。日本に貧困家庭の子どもを増やさないために、早急に法制化して欲しいと政治家の方をお願いしたい。安心して子どもを産めるような制度になったら、少子化も改善するとおもいます。
- 元夫は養育費未払いのまま何年も音信不通なので、未払い分を請求出来る制度を作してほしいです。
- 子供の父親からの養育費未払い。これをなんとかしてほしいです。
- 婚姻費用・養育費を確保するための強制執行の手続きをもっと簡単にできるようにしてほしいです。自分でやったところ、入金まで半年近くかかってしまいました。

- 調停に来ない、養育費を払わないということは、虐待であり犯罪だと思います。親権がある側だけが全ての責任をおうのは絶対におかしい。
- 日本は養育費を貰えていない人が多過ぎる。支援団体が食料支援など頑張ってくれていても一番大切な養育費を貰えなければ貧困は解決できないと思う。海外では公的支援もあるから、日本もきちんと養育費を貰える仕組みを作って貰いたい。
- 別れた元配偶者にきちんと養育費を支払わせて欲しい！居所を突き止めて強制的に支払わせて欲しい！逃げ得は絶対に許してはいけない！
- 法的に養育費徴収が実施できるようにしてほしい。
- 母子家庭のほとんどが養育費をもらえないためすごく苦勞をしているので養育費を法律で計算法なども出し、そしてしっかり受け取れる制度が欲しい。
- 最低賃金が上がりましたが、それ以上の物価高騰で生活はとても苦しいです。税金でお金を配るのではなく、まず最初に養育費は国が給与から天引きする措置をとることや、払わない人には何らかの制裁を与えるようにすることを求めます。また、ひとり親が非正規ではなく正規で時短で働けるようにしてほしいです。
- 日々の生活はなんとかやっつけていけるが貯金がまったく出来ない生活です。子供たちのはホントに細々と少しずつ貯金しているが自分のはまったくない。自分が倒れたときや子供たちが自立したときどうなるか不安。元旦那は離婚してすぐ再婚して養育費を1円もくれなくなりました。相談出来るところや行政が動いてくれたら嬉しいと思いました。今の世の中逃げたもん勝ちだと思います。
- シングルマザーとして生活していますが養育費が支払われず困窮しています。養育費を確実に確保できるような法整備を整えてほしいです。
- 養育費水準を世界に合わせた取り組みを早急に整えて欲しいです。母子家庭のみならず、収入がある働く母親の金銭的なサポート及び社会的サポートの制度改善をお願い致します。
- 共同親権については反対です。面会交流と共同親権とがごちゃまぜの議論になっているように感じます。
- 共同親権、共同監護ができない相手だから離婚したのに離婚後にも法で強制されるのは人権侵害です。それよりも子どもの養育費の確保と算定表増額が離婚後の子どもの貧困対策です。また属性関係なくどこの家庭のお子さんも物価高で経済的に苦しい状況は変わらないので、括りを設けない国民全員の緊急給付金が必要です。
- 子どもの心身の安全安心を守れず暴力から逃れるための離婚をしている場合、子どもの幸せを何より大切にしたい会話はできないことが多々あります。共同親権は怖いです。
- 共同親権について、反対です。

#### ➤ 児童扶養手当の見直し

- 児童扶養手当などの所得制限は廃止にしてください。少なくともコロナ禍が収まるまではひとり親家庭に所得制限は設けないで下さい。
- 児童扶養手当の収入基準が厳し過ぎる。児童扶養手当を不正受給している知人が何人もいます。そういうところを調査し、必要な人に手当がいくようにしてほしい。
- 児童扶養手当の所得額を引き上げて貰える範囲や金額を増やしてほしい。
- 児童扶養手当の所得額を上げてほしい。児童扶養手当がないとやっていけないため、時短で働いているが、本当はフルタイムで働きたい。フルタイムだと必死で働いても、支援がないとやはり生活は厳しいです。
- 児童扶養手当の所得制限の上限を引き上げて欲しい。
- 児童扶養手当の所得制限をなくして欲しい。所得制限内の金額ではお金が足りず生活が立ち行きません。所得を増やすと生活の時間的余裕も扶養手当もなくなり、お金と生活の両方でうまく行か

くなります。せめて医療費無償化などの支援は継続してほしいです。また、養育費を受け取れば所得として計算され児童扶養手当も減ります。尚且つ、養育費のために連絡や機嫌を取ったり会わせたくないのに子供に面会をさせないと行けなくなったり。養育費を受け取るメリットが私には理解できません。養育費を義務化する前に児童扶養手当を見直して欲しいです。

- 児童扶養手当等の所得額を考慮して頂きたい。時給も上がっている。物価も上がっている、所得額の枠を上げて頂きたい。宜しくお願い致します。
- 長い間見直されていない、児童扶養手当等の所得上限の見直し。今の世の中の経済状況と照らし合わせて、再度設定し直して欲しい。
- 格差社会をなくなるようにしてほしい。扶養手当の受給資格の年収をもっとあげてもらいたい。
- 児童扶養手当の制限額と支給額をあらためてほしい。物価も税金も上がっているのに、なぜそこは変わらないのか不思議。あげるべき。
- 児童扶養手当の金額を増額してもらえたらありがたいです。
- 児童扶養手当の金額を引き上げて欲しい。それに養育費が収入として8割含まれるのもなくして欲しい。
- 児童扶養手当の金額の見直し。第2子以降の金額が少なすぎて、この子達の存在価値が低いってこと？と悲しくなります。人数が増えるのに、金額が少ないため生活も厳しいです。
- 児童扶養手当をあげて欲しい。
- 児童扶養手当を増やしてほしい。
- ひとり親の児童扶養手当の第二子以降の金額の見直しをお願いしたい。第三子以降の金額はないようなもの。養育費が払われてない家庭が多いので検討をお願いします。
- 子供が遺族厚生年金を受け取れる事になりました。児童扶養手当がその分減額になるとの事でした。一律に減額と言う措置ではなく、子供が受け取る遺族厚生年金は、養育費等と同じ扱いにして、それを含めた総所得で児童扶養手当の額を計算して欲しいです。
- 年少扶養控除を復活させて欲しい。遺族年金と児童扶養手当を併給できるようにしてほしい。
- 4月と12月に児童扶養手当などが入らない。満遍なく毎月にしてほしい。新学期や年末年始に一番必要な時に出ないのは苦しい。
- 扶養手当ですが、乳幼児期とはまた別に、勉強に必要な塾や進学にかかる費用が膨大になってくるのに、一部支給や停止は生活を困難にする誘因となる。今一度見直してほしい。
- 物価高で生活費は逼迫しているにも関わらず収入は上がらない。それらに対応するために少しでも多くの収入を得ようと努力しても児童扶養手当等に関する所得制限限度額が低すぎるかつ支給額についても見直しがされない。時代の流れとお金の価値が合っていないので、短期間での見直しをおこない反映してもらいたいです。
- 物価高にともない、もしも賃上げとなったとしても、それにより児童扶養手当が減額されてしまったり受給資格がなくなったりすると結局生活は苦しいままなのではないかと不安に思います。

#### ➤ 多子世帯の現状・支援

- 少子化対策に力を入れているようですが、多子世帯の家庭にも目を向けてほしい。多子世帯では、子供の教育費が家計に重くのしかかっています。非課税世帯も大変だと思いますが、非課税世帯ギリギリの多子世帯中間層世帯は、苦勞しています。生活することで精一杯で、貯金する余裕もありません。子供達と旅行にもいきません。ダブルワークで頑張っていますが、働いても働いても余裕がありません。何か対策をお願いしたいです。助けてほしいです。
- 1人親の支援ばかりではなく、2人親多子世帯の支援もお願いしたい。
- 後回しになっている、子育て支援、特に多子世帯への支援を強く早く望みます。
- 子供が3人以上いる家庭や子供が5人以上いる家庭にはもう少し支援の輪があったら有難いと思い

ます！そして現在 18 歳で成人って言っても学生の間は支援の対象にしてもらいたいです。都会ばかりでなく田舎の方にもちゃんと目を向けて貰いたい！

- 子供の貧困、特に多子世帯への支援を充実させて欲しい。将来を担う子供達に明るい未来と希望をもてるようにして欲しい。お金がないから学べないというのを無くして欲しい。
- 所得制限なく子どもに支援してほしい。年収 600 万程でも、子どもが 6 人いるとやっていけない。生活が苦しい。
- 多子家庭向けの施策は子どもたちの年齢が近くないと利用できないものもあったので、なるべく人数だけをカウントして利用できるようにして欲しい。保護者の単純な年収ではなく、可処分所得でいろいろなことを計算して欲しい。
- 多子世帯にもっとサポートしてください。
- 多子世帯の貧困家庭にも目を向けてほしいです。
- 多児世帯に定期的な給付型奨学金の支給をお願いしたいです。
- 母子父子家庭だけを手厚くするのではなく子沢山の家庭も手厚くお願いします。将来をになう子供達のために。
- 住民税非課税にぎりぎり 0 円にならない家庭です 5 人の子供を育てていくのは本当に厳しいです。そういう世帯は支援はして貰えずお金がかかるが増えて、ご飯も沢山食べたい子供達に我慢させるばかりです。
- 子供が多い家庭は、大学も無償化して欲しいです。子供たちも家計を支える為にそれぞれアルバイトを頑張ってくれていますが、最低賃金で働いています。物価の高騰が続いていて生活も非常に苦しいです。子どもを育てるのにお金もかかり、児童扶養手当の額を上げてほしいところです。
- 生活が大変なのは低所得者だけではない、子供が多いだけで出費はかさむ。

➤ 所得に応じた柔軟な支援

- お金がないのでダブルワークすると子どもとの時間、自分の時間がなくなるうえに児童扶養手当や家賃が上がる。すごく矛盾を感じる。生活保護世帯の方が私たちより裕福な暮らしをしているのが現状！働く気力をなくす。
- キャリアアップにより非課税世帯から抜けましたが、それにもない受けられる支援が減りました。児童扶養手当の額は減り、高校生の就学給付金は受けられず、将来的には給付型奨学金・授業料免除の額も激減(2/3 の給付見込み)します。頑張っても報われない生活はつらいです。
- ギリギリ非課税世帯じゃない母子世帯もいます。
- はたらいってお金を稼ぐと手当が停止になる。所得制限の撤廃もしくは基準額拡大、緩和をお願いしたい。
- 課税だからといって稼ぎがいっぱいある訳では無いので、課税！って事だけでひとくりにしないでほしい。非課税で生活出来たら苦労しないし。生活していく為に働かなきゃいけないから働いてるのに、課税だからと言って支援の対象から外れたりっていうのが多々あり困惑します。
- 頑張って働いて、非課税にならないように働くと税金で引かれ、給付は受けられず、働かないほうが得をする非課税世帯優遇の制度を改善してほしい。給料は上がらないのに、光熱費や物価の上昇し、余裕のない家庭にとって、苦しくなる一方。非課税世帯、生活保護などももちろん仕方がない人もいますが、あえてそれを選んでいたり、預貯金のある年金世帯など、そこに支援ばかりしていたりすると頑張る気力もなくなってしまふ。
- 頑張って働く人に対しての支援をしてほしい。手当がなくなるからといって、働けるのに働かない人がたくさんいるので、そこを日本の未来のために考えていただきたいです。
- 給付金の支援対象が生活保護世帯や住民税非課税世帯のみになっている事が多々ありますが、低収入の課税対象世帯も生活に困っている家庭は多くあります。パートや派遣社員は毎月の収入が安定

しないので、月によっては生活保護世帯より低収入の場合もあり、そんな時でも住民税や社会保険や年金等の決められた税金は毎月払っているの、ある意味、一定の生活費が守られている生活保護世帯や住民税非課税世帯より苦しい月も多々あります。そのような事も考慮していただきたいです。

- 給付等、支給される収入金額を見直してほしいです。非課税ではないですが収入が少ないので厳しいと思うことがあります。
- 自己責任の名の下で、福祉が切られてゆくのかを感じています。減免のラインが住民税非課税世帯となることが多いのですが、非課税世帯の収入は生活保護費より下回ると思います。ひとり親で障害のある子供を育てながら必死に頑張っ月 15 万ほどを稼ぐと福祉の網から外されてしまうことに納得がいきません。福祉の網からギリギリ外れてしまう世帯に届く公的な援助を希望します。
- 住民税が少しでも課税されている世帯が一番苦しいと思う。非課税世帯と課税世帯の収入の逆転現象をもっと考えてほしい。多子世帯の補助を考えてほしい。
- 住民税均等割非課税世帯に対する支援は充実しているが、均等割は課税されていても収入が厳しい世帯もいるので、段階的な支援があると助かるなどと思います。
- 住民税非課税世帯への援助は手厚いが、ギリギリ非課税ではなくなった世帯への援助が乏しい。住民税は支払わなければならない、児童扶養手当は一部支給になり、給付金なども受けられない。結果的に、子どもとの時間は取れなくなり、貧乏に暮らさねばならなくなる。自分の力で何とかやっていこうと努力している世帯への支援を考えてほしい。
- 低所得は非課税世帯でなくてもいる。というのをわかっていただきたい。
- 低所得者層向けの支援が度々行われていることについて。これは経済活動や人命人権の保護に関わる解決策とも承知しています。ただ、住民税非課税世帯やそれと同様のご家庭への支援において、本当に困窮している世帯はそれだけではないことを知って頂きたいと思います。非課税世帯だけではなく、非課税世帯により近い世帯や多子世帯にも目を配って頂きたいと思います。
- 働けば働くほど、児童扶養手当はもらえなくなるし、年間の 130 万も辞めてもらいたい。
- 同じ 1 人親でも、非課税枠を超えてしまっていると色々な支援が受けられなくなります。子供に不自由させたくない一心でがんばって仕事をしてきたけれど、今高校や大学の非課税枠の恩恵を目の前にして絶望しています。働く時間を調整して子供との時間や家にいる時間があるのに非課税枠だと経済支援等で、フルタイム勤務している生活と変わらないのではと思ってしまいます。ひとり親のみの非課税枠の所得制限を新たに設けてもらいたいなど思いました。
- 非課税か課税の線引きであると、ぎりぎり課税の家は非常に喪失感を感じる。
- 非課税だけではなく、それ以外の世帯のことも考えてほしいです。
- 非課税ではなくギリギリのラインで課税している母子家庭へも目を向けてほしい。
- 非課税のかたばかりに給付があるが、1 人親で一生懸命働いてるところでも大変なんです。子供を育てるのに一生懸命働いて非課税じゃないのに苦しい思いばかりしています。
- 非課税の人にばかりお金を配らないでほしい。少しでも収入を増やそうと頑張ると、税金が上がり、手当が減り、働き損な気がしています。
- 非課税家庭だけではなく、頑張っ課税している一人親にも支援をしてほしい。
- 非課税基準を高くするべき。ワーキングプアが課税されてる。
- 非課税世帯ぎりぎりの世帯（ひとり親・二人親ともに）が一番苦しい思いをしていると思うので、そちらにも目を向けて欲しい。
- 物価高ですが収入が増えるわけでもなく、ただでさえ赤字生活なのに苦しい毎日です。非課税世帯ではないので給付の対象外になることもありつらいです。
- 非課税世帯だけが困っているわけではありません。家計が急変した世帯も今まで通りには出来ずに、子どもたちも戸惑いながらも頑張っています。



- 非課税世帯だけでなく課税世帯のひとり親にも手当をだしてほしい。苦しいのは非課税世帯だけではない。
- 非課税世帯だけへの支援ではなく全体の支援をして欲しい。
- 非課税世帯でもなくとも年収200万のひとり親家庭は家計が苦しく、子供に我慢させてばかりです。
- 非課税世帯では無いが、非常に生活が苦しい低所得者へのサポートが弱い。税金が上がり、給料はあがらないのに実質10年前より手取りが減った。子供が大きくなりどんどんお金もかかるのに生活が苦しすぎて楽しく遊んだり外食することは到底できない。
- 非課税世帯で区切るのをおかしいです。非課税所得より、1000円でも多ければ課税世帯です。給付金といって渡してありますが、非課税世帯が給付金もらえると、少しオーバーしただけの課税世帯より多くなります。一番辛いのはその世帯だと思います。
- 非課税世帯には十分な支援があるが、シングルでも必死で働くも税金がかかり、手当が低くなる。ひとり親世帯の現状をもっと理解してほしい！
- 非課税世帯ばかりではなく、税金を納めている国民にも平等に支援してほしいです。
- 非課税世帯は生活保護などたくさんの支援がありますが、働いている人は物価が上がっても給料は変わらず、誰からも助けてもらえません。生活費が足りないからさらに働いて、収入額だけが増えて、手当が減らされて支援も減ります。悪循環で理不尽です。
- 非課税世帯や、ひとり親世帯だけでなく、共働きの課税世帯も支援してほしいです。非課税世帯は、学費が無料で、給付型奨学金ももらえるため、私立大学への進学や一人暮らしも選択できるが、中間所得課税世帯は、国公立しか選べません。誰もが、学びを選択できる社会にして欲しいです。
- 非正規雇用で税金をひかれると非課税世帯以下の収入ですが、給付金がでないので悲しい気持ちになります。仕事を増やしてがんばっても生活がよくなりません…
- 非課税世帯以外にも支援をお願いします。
- 非課税枠をほんの少しだけ変えて課税になったグレーゾーン、養育費なしの母子家庭も助けて下さい。このままだと年越すどころか生活すらとても厳しく辛い。
- 物価の高騰やコロナによる会社の業績悪化による勤務時間や日数の減少で、かなり厳しい生活ですが、政府の支援は非課税世帯ばかりで、ギリギリ対象にならない人の支援も考えて欲しいと思います。宜しくお願い致します。
- 給付金、非課税世帯だけでなく、ひとり親も入れて欲しい。
- 離婚したことは自己都合だが、ダブルワークをして収入を増やしたとしても児童扶養手当は減額され生活は楽にならない。前年の収入で決まるので、物価高騰の現在が苦しい状況。また、ダブルワークで収入が増えたため非課税世帯でなくなったことで給付金もなく、頑張っても報われない気持ちになる。
- 物価上昇での支援策は、非課税世帯だけでなく、児童手当受給者にもすべきです。
- ひとり親に所得制限を設けないで欲しい。非課税世帯ばかり対象にしないで欲しい。本当に苦しいのは中間所得者。
- シングルマザーが貧困と言われてますが、シングルファーザーでも貧困で、ぎりぎりの生活をしています。非課税水準よりわずかに高いと給付を受けられない人たちがいる事を忘れないでください。
- ひとり親は収入にかかわらず支援してもらいたい。非課税世帯ではなくなったが、生活水準は最低ラインという世帯はたくさんいるはず。
- ひとり親に対する、非課税基準を緩くしてほしい。
- ひとり親に所得制限を設けないで欲しい。非課税世帯ばかり対象にしないで欲しい。本当に苦しいのは中間所得者。
- ひとり親家庭には課税世帯であっても給付金の支給対象にしなければならないと思います。なぜな

ら、ギリギリ課税対象になってしまった世帯は税金を払う分、より一層支払が増え生活が苦しい状況になるからです。ギリギリ非課税世帯の方が支払が少ない。そういうボーダーラインの課税ということ政府は考えなければならない。

- ひとり親家庭の援助対象に非課税などの線引きしてないでほしいです。わずかに所得が多くなるのを制限してる人が居るのが悲しい、私も気になってしまう。支援に感謝します。
- ひとり親家庭の支援を再度お願いしたいです。低所得家庭も含め。非課税でなくても非課税に近いギリギリの家庭もあるので、お願いしたいです。
- 物価高騰の中、児童扶養手当や住民税非課税等の所得上限は見直されないため、わずかながら賃金が上がったことが逆効果になり、手当は減らされ、住民税非課税の対象から外れてしまい、様々な支援の対象外になってしまって、収入は減り、結果として物価高騰のあおりを真正面から受けなければなりません。
- 非課税世帯の支援はありがたいです。ただギリギリの世帯、学費を考えて仕事を増やすと非課税枠を超える。非課税枠を気にして仕事を選ぶと日常の生活費が足りなくなる。ちょっと超えただけで受けられない支援がたくさんある。難しい厳しい状況。子供に我慢させたくない。自分の生活力をあげたい。一時のばらまくじゃなくて生活を支える社会を作って欲しい。自給できて最低限の生活を作る仕組みづくり、田舎で学力と仕事を繋げて欲しい。
- 生活保護世帯には、ひとり親などの支援はあるが、逆に頑張ってるひとり親については支援が殆どないに等しく、働いていても支援をしてもらいたい。頑張ってる働いて税金も納めている1人親世帯になぜ支援がないのだろうと疑問になる。
- 私は低所得世帯ですが、所得制限には反対です。多く納税してくれている世帯の子どもが支援を受けられないのは本末転倒ですし、こちら肩身が狭くなります。色々考えてくださった結果かもしれませんが、子育て支援と貧困支援は別にしてほしいです。

➤ 困窮子育て世帯の現実を知ってほしい

- もっと現実を知って欲しい。ズルをする人は沢山いるが、本当に大変で子供が進学を諦めたり、家賃を滞納したりしてるような家がある事を。収支を良くみて支援を増やしてほしい、必要ない人に配ってどうするのか。
- リアルに耳を傾けて欲しいです。
- 机上の空論ではなく、もっと現実を見てほしい。
- 一般の国民のことを考える政治を行って下さい。国民の目線に立って下さい。税金を国民の生活に使って下さい。
- 一般庶民の国民の声を聞く機会を増やして欲しい。
- 月10万の生活をしてみて欲しい。
- 現実を見て欲しいです。子供が我慢させるのは親として情け無いです。
- 給付金を貰えるのは大変助かっていますが、その分価格や税金が多くなっていて、収入は増えないので断然生きにくい世の中になってしまっています。所得制限などの制限を撤廃するなどして収入を増やさないと生活出来ない状況ですが、そうすると公的援助は減らされてしまい、結局は手元に残らないのが現状です。子どもにかかるお金は思っているより倍は多いので、もっとそれを知って頂きたいです。
- 国民のことを考えて欲しい。長い期間、コロナで経済的に困窮しているのに、いざコロナが落ち着き始めるとすぐに支援を打ちきる。安定するまで、継続的な支援をしてほしい。
- 国民の生活の向上を考えてほしい。
- 国民の声をきいてほしい。
- 子供にどれだけお金がかかるのか、女性が育児をしながら収入を得ることがどれだけ大変か実感と

してわかる方に大臣をして頂きたい。

- 貧困家庭の状態をもっと知ってほしい。
- 貧富の差がかなりある事を知ってほしい。
- 未来を担う子どもたちの事にもっと目を向けて欲しいです。子どもたちはコロナ禍でたくさん我慢しています。現場の声を聞きに来て欲しい。
- 実際の私たち庶民の生活に寄り添った政治をしてほしい（例：今の子育て給付金 10 万円は全く持続可能な支援ではないです）。
- 少子化対策と言いながら、実際に行なっている政策は子育て世帯を苦しめる様な政策ばかりです。きちんと子育て世帯の意見を聞き入れて政策を考えて下さい。どんどん子育て世帯は苦しくなるばかりです。本当に少子化対策をしようと考えているのかと疑問に思うほどです。このままでは生活できません。
- 中層家庭も貧困している事実知ってほしい。
- 地方在住のものです。生活物価指数は都会より安いと思われがちですが実際はそうではありません。むしろ都会よりも随分お金がかかるのが現状です。そしてフードバンクなども地方にはあまりありません。都会と同じように地方の現状もみていただけたらと思います。
- 生活困窮者に対する対策をもっと国民に目を向けて、行って欲しい。
- 今苦しい生活は改善される見込みがないまま、消費税値上げや、走行距離課税などを実施した場合、少子化は進みます。結婚、出産をして家庭や家族をもてない時代になっています。もっと国民に寄り添う政治をしなければ、国民の理解はありません。
- 母子家庭だけに止まらずどんどん暮らしにくい貧しい日本になっている様に感じます、真の意味で国民の為に引っ張っていけるリーダーを望みます、子ども達が希望の持てる国にして下さい。
- いらぬ部分にお金を使わず、困っているところへの支援をしてもらいたい。
- お金の使い方が間違ってる。困ってる家庭は沢山あるのに政府は見て見ぬふりばかりで全然助けになってません。
- 税金の使い方をもう少し考えて欲しい。
- 今から生まれる子供の補助に最近ニュースが出ているが、今子育てしている私達が苦勞している。政府は旅行支援などばらまきしないほしい。
- 子育て世代や弱者の為に本当にためになる政治をお願いします。増税ばかりなのに社会福祉や教育、子供のために還元されている実感が全く無い。
- 給付金や支援金などは、真に必要な人を限定した上で支給してほしい。

▶ 将来につながる支援・根本的な支援

- 「子どもの貧困」＝「親(保護者)の貧困」です。子どもの貧困だけに焦点を当てたその場限りの対処療法だけでは、経済的格差から来る貧困の連鎖は無くなりません。早急に必要な対処療法と同時に、日本の子どもの未来のためにも、根幹である、子育て世帯の最低限生活に必要なお金が足りていない、「金銭的資源の欠如」という貧困の根本的な問題解決のための政策を望みます。
- その場しのぎでなく、先も見据えた政策を行ってほしい。そのために我慢が必要であれば甘んじて受けますが…将来に不安しかありません。
- とにかく単発的な支援ではなく継続的に、子供達が毎日笑顔で過ごせるような対策をして欲しい。
- 本当に必要なことにお金を出して欲しい。大変な時期を乗り越えられるよう子育て世帯に定期的な支援をお願いします。
- バラバラ給付金をするよりも、過去最高であるはずの税収を無駄なく効果的に使って、教育福祉に還元して欲しい。所得は上がらず、税金が上がるニュースしか出てこない。希望が持てない。
- 一時的なばら撒きではなく、長期的かつ将来につながる政策をして欲しい。物価上昇等に加え、増

税ばかりでは、上級国民以外は生きていく道が見いだせなくなってくる。

- 一時的な給付金なども助かりますが、賃金アップが1番望ましいです。
- 一時的な支援でなく継続して欲しい。政府は子供がいる世帯の支援をしてくれる時、妊婦や乳幼児に手厚く考えている様ですが、年齢が小さい時はさほどお金がかからず、中学、高校生の時がお金がかかるのをもっと考慮して欲しい。
- 一時的な支援より継続的で未来に繋がる支援をお願いします。
- 一時凌ぎではない継続した支援。このままだと貧困連鎖で子どもたちの将来が心配。
- 給付金もいいけど子育てをするのにお金がかからないような仕組みにしてほしい。保育園や小学校で使うもの配給制にするなど。給食費無料など。
- 給付金を時折実施して頂いてますが、その場しのぎという事に早く気づいて欲しい。世の中全体の給与が上がれば様々な値上げにも対応出来ます。ひとり親でも稼げれば将来を担う子供の世界が広がります。早く気づいて対策してください。
- 給付金五万円等の一時的なサポートでは追いつかない状況です。
- 現状の課題の解決と、未来の子どもたちへの負担軽減につながる政策の実現を欲しい。
- 未来ある子どもたちへのあたたかい支援策をお願いしたい。
- 物価が高騰している中で増税ばかりは本当に大打撃です。私達のような片親だけではなく、子育て世帯の皆さんも大変な中頑張っていると思います。今の日本は、若者からみたら結婚、出産は人生の墓場と考えている人も少なくありません。女性の社会進出がこれだけ当たり前になってきたのですから、保育園や幼稚園施設の受け皿を増やしたり、地方にも学童以外の子供の預かり施設を増設するなどして、子供を産んでも安心して社会全体が子供を守り育てていける仕組みをつくって頂きたいです。クーポン配布ではその場しのぎにしかありません。20年、30年後にも生きるような政策をよろしくをお願いします。
- 物価上昇とともに、賃金の見直しを行なっていただきたいです。日本は海外よりも労働力があり、拘束時間も長いのに、賃金が低すぎます。物価を上げざるを得ないのであれば、まずは賃金の底上げをしていただきたいです。
- 物価高なのにお給料は上がらない。全国旅行支援などお金がないひとり親には全く意味のない支援です。旅行業界を助けるという意味でしょうが真の意味で困っている層に寄り添う政策を掲げて欲しいです。年長者も大事ですが未来ある子供達に投資する政策にして欲しいです。
- 賃金を上げてください。
- 子育て世帯を助ける政策をしてほしいです。女性が仕事をしやすい、子供を育てやすい社会にしてほしい。緊急的、恒常的な支援は今、必要とします。今後子供たちが成長した後の社会では私のような生きづらい世の中ではなくなっている未来であってほしいです。
- 自営業で週7で働いています。仕事が遅くなったり日曜祝日に保育をお願いしているので、保育料もバカになりません。普段の保育園以外の保育料だけでもせめて必要経費に認めてほしいです。欧米のように家事支援税制を充実させ、子育て世帯も働きやすい環境を目指して欲しいです。
- もっと子育て安い環境を整えないと少子化問題の解決にならない。まずは子供を産んで貰わないと将来税金払ってくれる人が居ない。
- 一時金で誤魔化さず、消費税の暫定的な低減など、より広く効果のある策を打ってほしいです。また長期的には雇用の安定、経済成長など基幹部分にしっかりと手を打つべきではないでしょうか。

➤ その他

- 成長に応じてお金がかかる。学校もそうだが、食費もかかる。食べ盛りの子がいます。たくさん食べてごめんね。って言われた時泣きそうになりました。だけど、内心たくさん食べないで。と思っていました。

- お金の事で子どもに気をつかせていると思う。
- 子供に好きなものをお腹いっぱい食べさせてあげたいです…
- 子どもが安心して生きて行ける世の中、そして子どもが夢や目標を持てる未来予想図を示して欲しいです。
- 子供がのびのび育てていける国にしてほしい。
- 子供たちが明るい将来をイメージできる社会にしてほしい。
- 子どもたちに支援していただきたく、よろしく願いいたします。私は空腹でも、母親なので大丈夫です！
- 貯蓄のない低所得の家はこのままでは子供の将来まで諦めなくてははいけなくなるので、どうか子供達の将来を考えて欲しい。
- 貧困家庭への子供への支援を増やしてください。大人は我慢できます。子供は宝です。どうか子供支援を手厚くして下さい。
- 自治体ごとに支援度合いが違うとか、知らないせいで支援が受けられないとか、NPO が前面に立って支援をするとかではなく、全て政府が主導で一律に漏れることなく、格差がなるべく生まれないように自治体、NPO などと協働して支援の制度を作って行って欲しい。少子化問題に本気で取り組んで、子どもたちが誰一人漏れることなく、楽しく暮らせるようにしてほしい。
- 政府に希望はありません。希望を持っても未来が明るくないから。子供も将来に対して絶望的なイメージがあるので、せめて子供たちだけでも明るい未来が描けるようにしてほしい。
- すべてにおいて子育てしにくい日本、弱者という観念が子育てをしていても感じる、生きにくい。
- 感染症の流行、物価上昇や円安など、どんどん追い打ちをかけられている。将来が不安で見通しも立てられず、今を生きるのに精一杯です。うちだけでしょうか？こんな時はどうしたら良いのか、セーフティネットがあっても利用ができていないのだと思います。手を挙げないと救われない、そんな世の中で子供を育てていくのは大変です。
- いつまで現状が続くのか、不安しかありません。
- 苦しいです。
- 給料も上がるどころか減り生きていくのが辛くなります…
- とにかく、つらいです…
- 助けて下さい。お願いします。
- 政府に弱者は死ねって言われているような気がする。
- 生きているだけでお金がかかる。先行きに不安しかない。国に希望がない。
- 生きることがちょっと難しくなってきました。
- 生活がとにかく苦しいです。助けてください。
- 物価上昇、税金アップ、給料は減る、変わらない、今の日本は未来がないように見える。
- 母も子も障害者です。障害者に手厚い保護をお願いしたい。
- 支援学校にも就学援助を利用できるようにしてほしい。
- 障がいのある子どもへの配慮と難病の親への支援をぜひご検討ください。
- 小さな子供がいても仕事がしやすい、9時から夕方5時迄などの時間帯の仕事が増えて欲しいです。
- 小学校(低学年)の学童保育の充実と無償化。留守番できない年齢で保育園並みのケアをしてほしい。
- 民間の賃貸住宅の家賃補助を、切に願います。
- 県営団地に入居できない場合、空き家をシングルマザーに安く賃貸して欲しい。
- 家賃の補助がある区とない区があるので、平等に補助してもらいたいです。
- 給付金いただいても、支払いに消えるだけです。足立区には住宅補助制度がありません。全国で家賃補助制度があればありがたいです。
- 安定した仕事を得る為、資格取得中の生活保障を充実させてもらいたい。

- 収入に結びつけるよう職業訓練を受けやすくしてほしい。
- あらゆる手続きを簡単にしたい。ややこしいことがおおすぎる。
- 色々な支援があるのはわかるのですが調べる時間がないので知るきっかけが少ない。
- 良さそうな政策などがあっても複雑でよく分からない、時間がかかる、結局利用出来ない、結局困っているのもっとスムーズな安心安全な支援政策があると助かります。
- 私達母子は障害があり年金、子供の手当で生活をさせて頂いており助かっております。自分自身が長年、労働不可能な心身で貧しいのは私心身が悪いのですが、子供周囲、環境は貧富の差が激しい為、貧困でのイジメがない社会になってほしいです。
- 偏見や当事者の生きづらさのない世の中にしてほしい。
- 母子寡婦貸付金など、市役所が窓口の子育て支援をもっと使いやすくしてほしい。予算を使いたくないのか、窓口で、嫌味たらたら、目線、態度、が高圧的で、市役所に行く度に、生きていたくないくらい物凄く落ち込みます。
- 夫のDVにより、実家に避難していましたがはじめの数ヶ月は面接等手厚く保護されていましたが、最近は全く連絡もなく、孤立を感じます。行政の支援を感じません。もっと社会的地位の低い立場の人々に目を向けて欲しいです。
- 2歳までクーポンを実施する方向でいますが2歳ではオムツ取れる子少ないのでせめて2歳半までのばしてください。
- ガソリンの補助は農業や運送等、仕事の人のみでいいと思う。普通の人が高くなってないので、マイカーが減らず、公共交通機関が使ってもらえてない。ばらまきを感じる。
- 都道府県格差をなくしてほしい。

以上